

DIGITAL CAMERA

X-A3

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ X-A3 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

X-A3 スペシャルサイト

<http://fujifilm-x.com/x-a3/>



本製品の内容については、オンラインマニュアルを併せてご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>



はじめに

撮影の準備

基本撮影（静止画編）

静止画の撮影と再生

基本撮影（動画編）

動画の撮影と再生

Q（クイックメニュー）ボタン

Fn（ファンクション）ボタン

応用撮影

いろいろな撮影と再生

メニュー一覧

接続編

無線 LAN 機能

パソコンに転送

プリント

テレビで再生

カメラで使えるアクセサリ

お取り扱いにご注意ください

困ったときは / 資料





カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。



2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（ 138）をお読みください。



3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- ボディキャップ (1 式)



- AC パワーアダプター AC-5VF (1 個)
- 専用 USB ケーブル (1 本)



- プラグアダプター (1 個)
仕向け国によって形状が異なります。
- ショルダーストラップ (1 本)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)



- ◆ レンズキットをお買い上げいただいたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

目次	➔	📖 5	トラブルシューティング / FAQ	➔	📖 145
カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。			カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。		
警告表示	➔	📖 154	各撮影モードで使用できる機能について	➔	📖 158
画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。			撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。		
索引	➔	📖 166			
用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。					

●● 使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- ・本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- ・本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものではありません。

お手入れについて

カメラのお手入れ

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはプロアブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングはセットアップメニューの  センサークリーニングで行えます (116)。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、プロアブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

目次

はじめに	2	撮影の準備	20
カメラをお使いになる前に	2	ストラップを取り付ける	20
本書について	3	レンズを取り付ける	21
お手入れについて	4	バッテリーとメモリーカードを入れる	22
カメラのお手入れ	4	使用可能なメモリーカード	24
交換レンズのお手入れ	4	バッテリーを充電する	25
カメラの各部の名称	10	電源をオンにする / オフにする	28
セレクトボタン	11	初期設定を行う	29
メインコマンドダイヤル / サブコマンドダイヤル	12	言語、日時を変更する	29
インジケータランプ	13	撮影モードのタッチ操作について	30
液晶モニターについて	13	情報表示について	31
画面の表示	14	「スタンダード」画面のカスタマイズについて	32
静止画撮影時	14	基本撮影（静止画編）：静止画の撮影と再生	33
再生時	16	静止画を撮影する	33
レンズについて	17	タッチズーム撮影	34
レンズの各部名称	17	静止画を再生する	35
レンズキャップの取り外し方	17	1コマ再生	35
レンズフードの取り付け方	17	再生ズーム	36
絞りリング付きレンズについて	18	マルチ再生	37
手ブレ補正スイッチ付きのレンズについて	18	タッチ操作による再生	38
フォーカスリングの移動により		画像を消去する	39
MF撮影が可能なレンズについて	19	1コマ消去	39
		複数指定消去	40
		全コマ消去	40

基本撮影（動画編）：動画の撮影と再生	41
動画を撮影する.....	41
動画を再生する.....	42
Q ボタン /Fn ボタン：Q（クイックメニュー） ボタン	43
Q ボタンを使う.....	43
設定の確認と変更.....	43
クイックメニューの割り当て変更.....	44
Q ボタン /Fn ボタン：Fn（ファンクション） ボタン	45
ファンクションボタンを使う.....	45
応用撮影：いろいろな撮影と再生	46
モードダイヤルで撮影モードを変更したい.....	46
SR ⁺ （アドバンスドSRオート）.....	47
Adv.（アドバンスドモード）.....	48
SP（シーンポジション） /  /  /  / 	53
P（プログラム）.....	54
S（シャッタースピード優先）.....	55
A（絞り優先）.....	56
M（マニュアル）.....	57
C（カスタム）.....	58
ピントに関する設定を変更したい.....	59
ピント合わせの方法を変更（フォーカスモード）.....	59
M（マニュアルフォーカス）での撮影方法.....	60
AFモードの選択.....	62
フォーカスエリア選択.....	63
AE/AFロック撮影したい.....	66
ホワイトバランスを変更したい.....	68

連写画像を撮影したい.....	71
連続撮影（連写）.....	72
ブラケティング撮影.....	73
セルフタイマーを使って撮影する.....	75
2秒後撮影 / 10秒後撮影.....	76
スマイル撮影.....	76
カップルタイマー撮影.....	77
グループタイマー撮影.....	77
インターバルタイマーを使って撮影したい.....	78
自分撮りをしたい（セルフイー）.....	79
ISO感度を変更したい.....	80
露出を補正したい.....	82
明るさの測定方法を変更したい（測光モード）.....	83
フラッシュを使って撮影したい.....	84
フィルムシミュレーションで画像を撮影したい.....	86
RAW画像を撮影・現像したい.....	87
RAW画像の撮影.....	87
RAW画像の現像（カメラ内RAW現像）.....	88
Mマウントレンズで撮影したい.....	90
マウントアダプター設定.....	90
フォトブックを作成したい.....	92
フォトブックを作成する.....	92
作成したフォトブックを見る.....	93
作成したフォトブックを編集 / 削除する.....	93

応用撮影：メニュー一覧	94
撮影の設定を変える — 撮影メニュー	94
撮影メニューの使い方	94
撮影メニュー一覧	95
 シーン選択	95
 Adv. モード	95
AF オートフォーカス設定	96
ISO 感度	98
 画像サイズ	98
 画質モード	98
D-Ring ダイナミックレンジ	99
 フィルムシミュレーション	99
 フィルムシミュレーション BKT	99
 セルフタイマー	99
 インターバルタイマー撮影	99
WB ホワイトバランス	99
Color カラー	99
Sharp シャープネス	100

 ハイライトトーン	100
 シャドウトーン	100
NR ノイズリダクション	100
 長秒時ノイズ低減	100
 カスタム保存	100
 タッチパネルモード	100
 タッチズーム	100
LENS マウントアダプター設定	101
 レンズなしレリーズ	101
MF ASSIST MF アシスト	101
 測光	101
 測光 & フォーカスエリア連動	101
 フラッシュ設定	102
 動画設定	102
 プレ防止モード	103
 電子式手ブレ補正	103
 ワイヤレス通信	103
SHOOTER シャッター方式	104

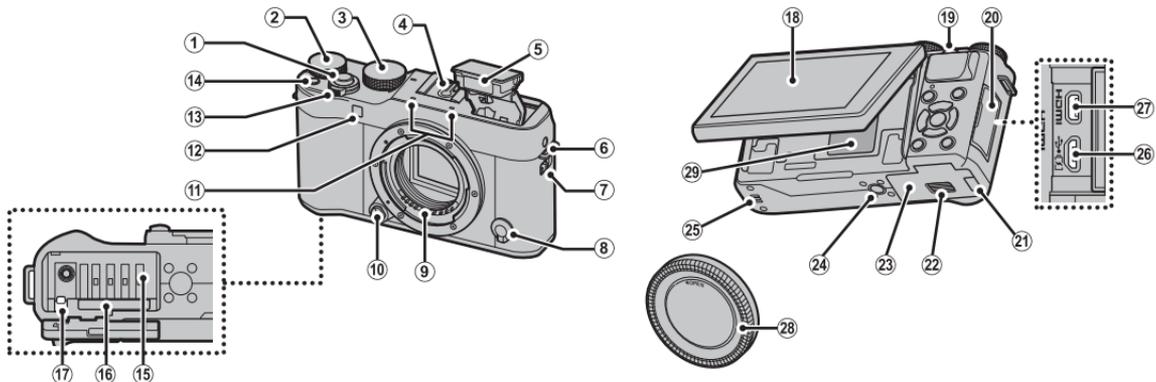
再生の設定を変える — 再生メニュー	105	カメラの設定を変える — セットアップメニュー	111
再生メニューの使い方	105	セットアップメニューの使い方	111
再生メニュー—覧	106	セットアップメニュー—覧	112
ワイヤレス通信	106	日時設定	112
RAW 現像	106	世界時計	112
消去	106	言語/LANG	112
トリミング	107	リセット	112
リサイズ	107	電子音 & フラッシュ	113
プロテクト	108	音設定	113
画像回転	108	表示設定	114
赤目補正	109	操作ボタン設定	115
スライドショー	109	フォーカスリング	115
フォトブックアシスト	109	タッチパネル設定	116
PC 保存	110	消費電力設定	116
プリント予約 (DPOF)	110	センサークリーニング	116
instax プリンタープリント	110	保存設定	117
表示比率	110	色空間	118
		カスタムリセット	118
		接続設定	119
		フォーマット	120
		工場出荷時の設定値	121

接続編：無線 LAN 機能	123
無線 LAN 機能を使用する (FUJIFILM Camera Remote/FUJIFILM PC AutoSave)	123
スマートフォンと通信	123
パソコンに画像を保存	124
接続編：パソコンに転送	125
カメラをパソコンに接続して画像を転送する (MyFinePix Studio/RAW FILE CONVERTER)	125
Windows をお使いの方	125
Mac (Macintosh) をお使いの方	125
カメラとパソコンを接続する	126
接続編：プリント	128
プリントサービス店でプリントする (お店プリント)	128
プリントする画像を指定する ( プリント予約 (DPOF))	129
instax SHARE プリンターで カメラの画像をプリントする	131
プリンターとの接続を設定する	131
画像をプリントする	132
接続編：テレビで再生	133
テレビに接続する	133

カメラで使えるアクセサリ	135
別売アクセサリ	135
システム構成図	137
お取り扱いにご注意ください	138
センサーをクリーニングする	144
困ったときは	145
トラブルシューティング / FAQ	145
警告表示	154
資料	157
SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間	157
各撮影モードで使用できる機能について	158
リンク集	161
FUJIFILM X-A3 製品情報	161
撮影の基礎知識	161
デジタルカメラ撮影ガイド	161
ファームウェア更新情報	161
主な仕様	162
索引	166
ソフトウェアのお問い合わせについて	169
アフターサービスについて	170

カメラの各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

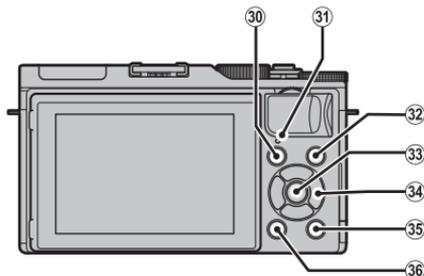


① シャッターボタン.....	34	⑬ 電源レバー.....	28	⑳ マイクロ USB 端子 (Micro-B)	126
② メインコマンドダイヤル.....	12	⑭ Fn (ファンクション) ボタン.....	45	専用リモートリリース端子..	55、57
③ モードダイヤル.....	46	⑮ バッテリー挿入部.....	22	㉑ HDMI マイクロ端子 (Type-D)	133
④ ホットシュー.....	84、137	⑯ メモリーカードスロット.....	23	㉒ ボディキャップ.....	21
⑤ フラッシュ.....	84	⑰ バッテリー取り外しつまみ.....	23	㉓ 銘板プレート.....	下記参照
⑥ ストラップ取り付け部.....	20	⑱ 液晶モニター (LCD).....	13		
⑦ ⚡ (フラッシュポップアップ) スイッチ.....	84	⑲ サブコマンドダイヤル.....	12、12		
⑧ フォーカスモード切換レバー.....	59	㉑ 端子カバー.....	126、133		
⑨ レンズ信号接点		㉒ DC カプラーカバー.....	22		
⑩ レンズ着脱ボタン.....	21	㉓ バッテリーカバーロック.....	22		
⑪ マイク.....	41	㉔ バッテリーカバー.....	22		
⑫ AF 補助光ランプ.....	97	㉕ 三脚用ねじ穴			
セルフタイマーランプ.....	75	㉖ スピーカー.....	42		

銘板プレートについて

FCC ID、KC マーク、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。



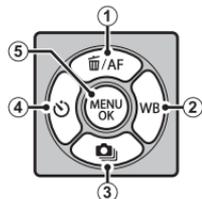
⑩	▶ (再生) ボタン	35
⑪	インジケータランプ	13
⑫	● (動画撮影) ボタン	41
⑬	MENU/OK ボタン	下記参照
	☰ ボタンロック (長押し)	下記参照
⑭	セレクトーボタン	下記参照
⑮	Q ボタン	43
	RAW 現像 (再生時)	88
⑯	DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン	31

撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に ☰ が表示され、セレクトーボタン (▲▼◀▶)、Q ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、MENU/OK ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

セレクトーボタン

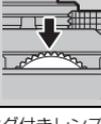
▲▼◀▶ (上下左右) ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。



- ① 上に移動 (▲)、AF ボタン (63)、☒ (消去) ボタン (39)
- ② 右に移動 (▶)、WB ボタン (68)
- ③ 下に移動 (▼)、📷 (連写) ボタン (71、72、73)
- ④ 左に移動 (◀)、⌚ (セルフタイマー) ボタン (75)
- ⑤ MENU (メニュー) /OK ボタン (94、105、111)

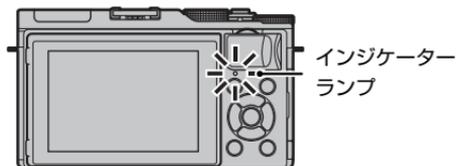
メインコマンドダイヤル / サブコマンドダイヤル

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの主な操作は、以下のようになります。

		P (プログラム)	S (シャッター スピード優先)	A (絞り優先)	M (マニュアル)	クイック メニュー	再生モード
							
メイン コマンド ダイヤル		露出補正 (82)			シャッター スピードを設定 (57)	設定値を変更 (43)	コマ送り (35)
サブ コマンド ダイヤル	回転する 	プログラム シフト (54)	シャッター スピードを 設定 (55)	絞り値を設定* (56、57)	-		再生ズーム (36) マルチ再生 (37)
	中央を押す 	<ul style="list-style-type: none"> ピント位置の拡大表示 (59) マニュアルフォーカス時に長押しで、MF MFアシストの設定切り換え (61) 自分撮り (セルフイー) をするために液晶モニターを 180° 回転しているときは、シャッターボタン (79) 					ピントを 合わせた位置 の拡大表示 (35)

* 絞りリング付きレンズを装着の場合はレンズの絞りリングで絞り値を設定

インジケータースランプ



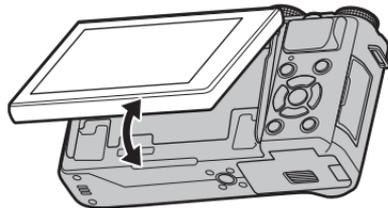
インジケータースランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケータースランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

◆ 画面にも、警告表示が表示されます（[154](#)）。

液晶モニターについて

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。自分撮り（セルフイー）を行う時に便利です（[79](#)）。



**指挟み
注意**

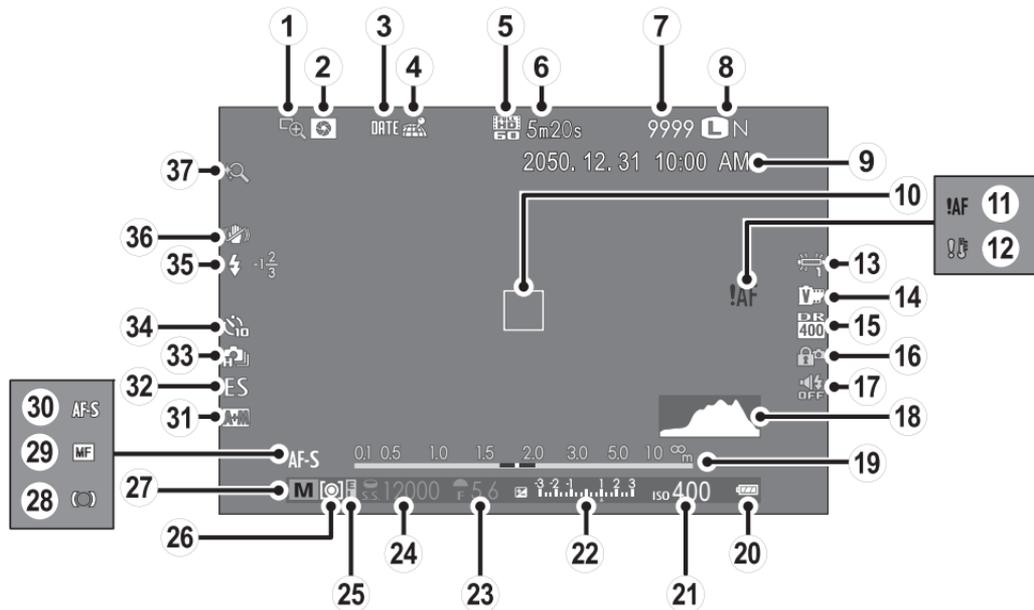
液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

撮影時



① フォーカスチェック.....	61	⑮ ダイナミックレンジ.....	99	㉞ 合焦マーク.....	59
② 被写界深度確認.....	56	⑯ ボタンロック.....	11	㉟ マニュアルフォーカス.....	60
③ 日付書き込み.....	118	⑰ 電子音 & フラッシュ.....	113	㊱ フォーカスモード.....	59
④ 位置情報取得状態.....	119	⑱ ヒストグラム.....	32	㊲ AF+MF.....	96
⑤ 動画モード.....	41	⑲ 距離指標バー.....	61	㊳ シャッター方式.....	104
⑥ 動画撮影の残り時間.....	41	㉔ バッテリー残量表示.....	28	㊴ 連写モード.....	71
⑦ 撮影可能枚数*.....	157	㉕ ISO 感度.....	80	㊵ セルフタイマー.....	75
⑧ 画像サイズ・画質モード...98、98		㉖ 露出補正バー / 露出インジケータ	57、82	㊶ フラッシュモード.....	84
⑨ 日付・時刻.....	29		フラッシュ調光補正.....	84
⑩ AF フレーム.....	34、66	㉗ 絞り値.....	54、56、57	㊷ プレ防止.....	103
⑪ AF 警告.....	13、149、154	㉘ シャッタースピード...54、55、57		㊸ タッチズーム.....	34
⑫ 温度警告.....	156	㉙ AE ロック.....	67		
⑬ ホワイトバランス.....	68	㉚ 測光モード.....	83		
⑭ フィルムシミュレーション.....	86	㉛ 撮影モード.....	46		

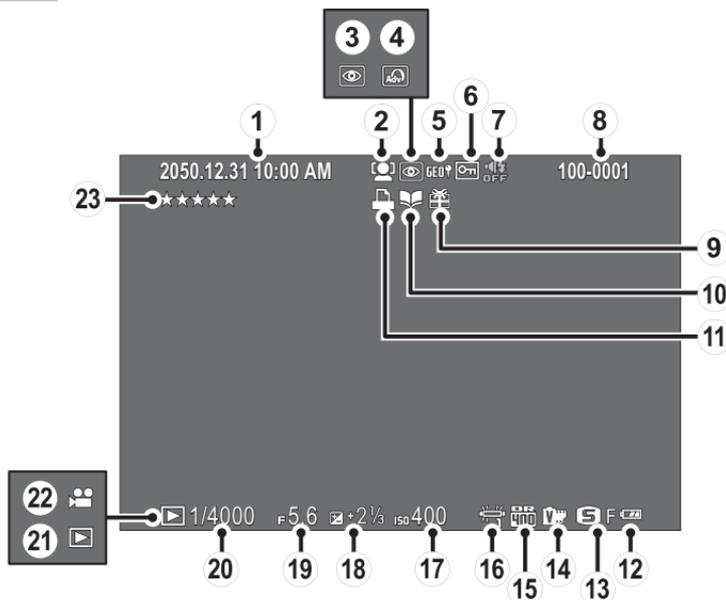
* 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

●● 撮影時のボタンロックについて



MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます (p.11)。

再生時

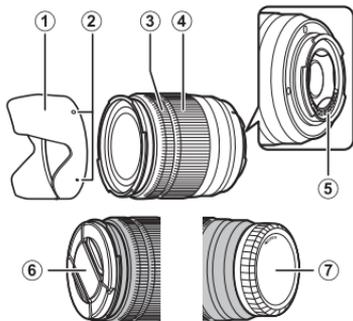


- ① 日付・時刻 29
- ② 顔検出 97
- ③ 赤目補正 109
- ④ アドバンストフィルター 49
- ⑤ 位置情報 119
- ⑥ プロテクト 108
- ⑦ 電子音 & フラッシュ 113
- ⑧ コマ NO. 117
- ⑨ プレゼント 35
- ⑩ フォトブックアシスト 92
- ⑪ プリント予約 129
- ⑫ バッテリー残量表示 28
- ⑬ 画像サイズ・画質モード 98
- ⑭ フィルムシミュレーション 86
- ⑮ ダイナミックレンジ 99
- ⑯ ホワイトバランス 68
- ⑰ ISO 感度 80
- ⑱ 露出補正 82
- ⑲ 絞り値 54、56、57
- ⑳ シャッタースピード... 54、55、57
- ㉑ 再生モード 35
- ㉒ 動画アイコン 42
- ㉓ お気に入り 35

レンズについて

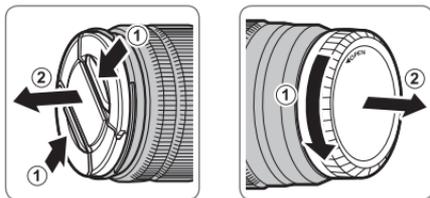
このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



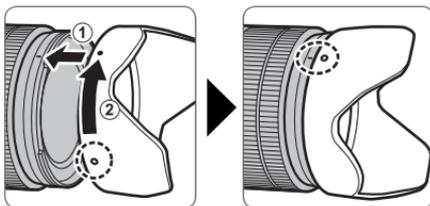
- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ ズームリング
- ⑤ レンズ信号接点
- ⑥ レンズフロントキャップ
- ⑦ レンズリアキャップ

レンズキャップの取り外し方



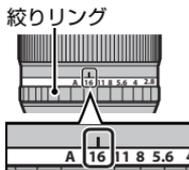
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。



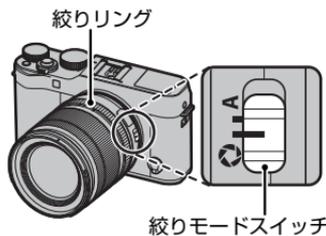
絞りリング付きレンズについて

レンズで絞りを **A** 以外に設定しているときは、レンズの絞りリングで絞りを調整できます (**A** (絞り優先) または **M** (マニュアル) モードのとき)。



● 絞りモードスイッチがあるレンズの場合

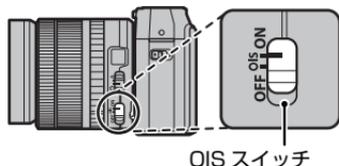
絞りモードスイッチがあるレンズでは、絞りモードスイッチを  の位置に設定すると、レンズの絞りリングで絞りを調整できます。



- ① 絞りを **A** に設定しているときは、サブコマンドダイヤルで絞りを調整します。
- メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は  12 をご覧ください。

手ブレ補正スイッチ付きのレンズについて

手ブレ補正対応レンズを使用しているときは、カメラのメニューでブレ防止モードを設定できます ( 103)。レンズに手ブレ補正のスイッチ (OIS スイッチ) がある場合は、OIS スイッチを **ON** の位置に合わせると、手ブレ補正機能が使用できます。



フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて

・ **AF** 時 (マニュアルフォーカス撮影以外) は、フォーカスリングをフロント側にセットしてください。



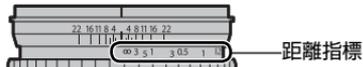
・ **MF** 時 (マニュアルフォーカス撮影; 図 60) は、フォーカスリングをリア側にセットしてください。ライブビューで画像を確認しながらフォーカスリングを回し、ピントを調整してください。距離指標と被写界深度目盛を活用した目測による **MF** 撮影も容易に行えます。



① フォーカスリングをリア側 (**MF**) に移動しても、撮影モードによっては、**MF** 撮影できない場合があります。

被写界深度目盛

絞り値によるピントの合う範囲の目安は、被写界深度目盛で確認できます。

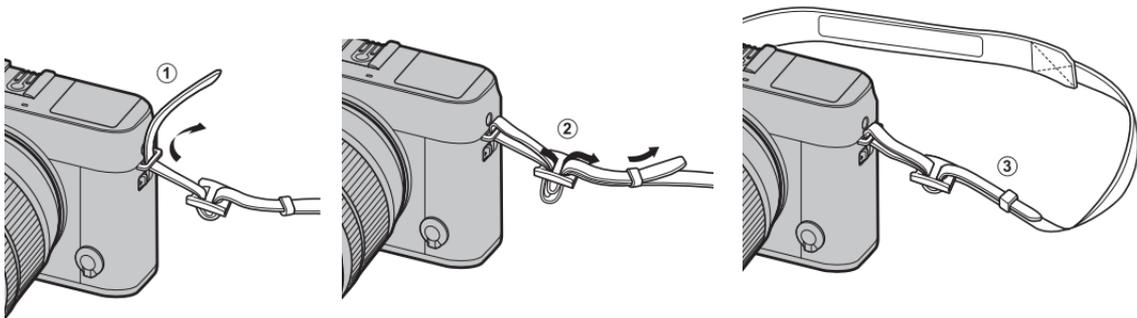


① 本レンズを装着し **MF** に設定すると、カメラの画面に「距離指標」は表示されません。



ストラップを取り付ける

ショルダーストラップは、次のようにカメラのストラップ取り付け部（2箇所）に取り付けます。



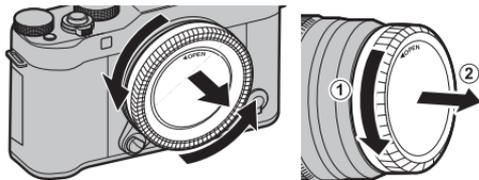
① ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

カメラにレンズを取り付けます。

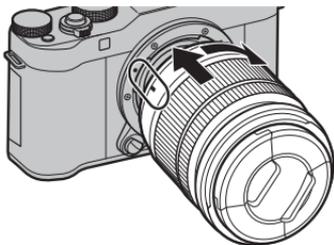
① レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。

- 1** カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外します。



① カメラ内部には触れないでください。

- 2** カメラとレンズの指標に合わせてレンズを回し、カメラに取り付けます。

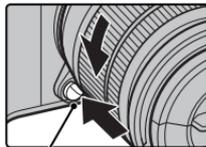


① 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。

② レンズを取り付けるときは、レンズ着脱ボタンを押さないでください。

● レンズを取り外すときは

カメラの電源をオフにしてからレンズ着脱ボタンを押して矢印の方向にレンズを回してください。



レンズ着脱ボタン

① レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けて下さい。

● 別売アクセサリーについて

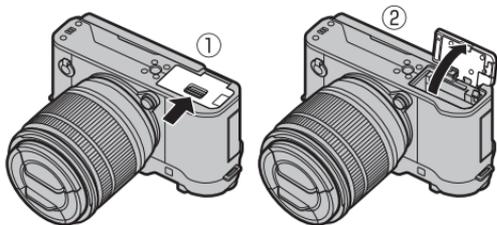
このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Xマウント対応の交換レンズやアクセサリーが使用できます (P.135)。

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。撮影した画像は、市販のSD/SDHC/SDXCメモリーカードに記録します。

① このカメラには内蔵メモリーはありません。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

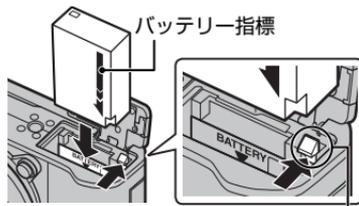


① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

① バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

2 バッテリーを入れます。

- 図のように、金色の端子を下にして、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認してください。
- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

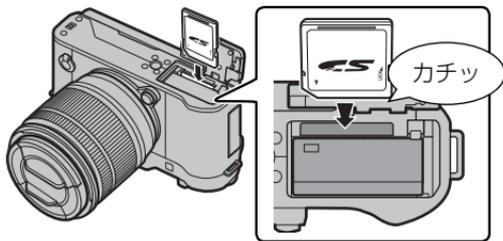


バッテリー取り外しつまみ

- ① バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- ① バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

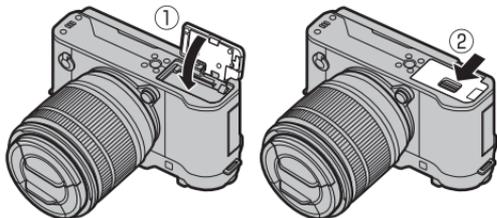
3 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



- ① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

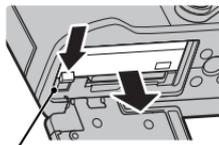
4 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。



- ① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

● バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

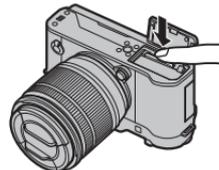


バッテリー取り外しつまみ

- ① 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

● メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

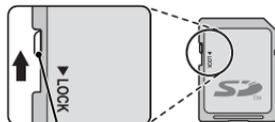


- ① メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押ししてください。
- ① メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- 動画撮影や連写撮影をするときは、**CLASS10** 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

- ① メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- ① メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



書き込み禁止スイッチ

- ① 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (P.120) してからご使用ください。
- ① メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ① 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- ① メモリーカードにラベルなどははらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- ① メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- ① カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

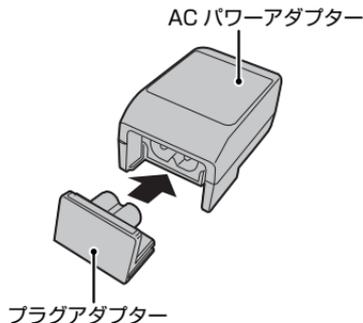
バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-W126S です。
- 充電時間については、 164 をご確認ください。

1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

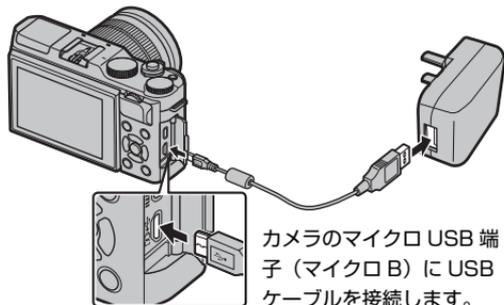
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。



- ① 付属のプラグアダプターは、AC パワーアダプター AC-5VF 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

2 バッテリーを充電します。

カメラと AC パワーアダプターを付属の USB ケーブルで接続します。AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。



- ① USB ケーブルは向きに注意して、端子の奥までしっかりと差し込んでください。

● 充電状態の表示

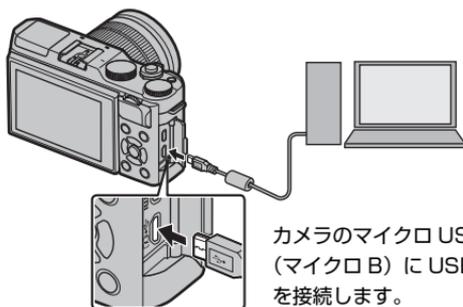
インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

- ① カメラの電源がオンのときは充電できません。
- ① 同梱されている AC パワーアダプターは電源電圧（100-240V）、電源周波数（50/60Hz）の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上ご用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、バッテリーを充電してください。
- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

● パソコンに接続してバッテリーを充電する

パソコンに接続して、バッテリーを充電することもできます。付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続してください。

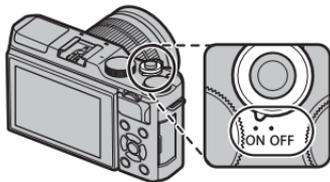


カメラのマイクロ USB 端子
(マイクロ B) に USB ケーブル
を接続します。

- ① 充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。
- ① USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- ① パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

電源をオンにする / オフにする

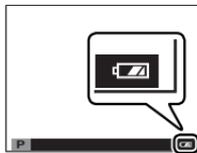
電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



- ◆ 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
 - ◆ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - ◆ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。**消費電力設定の自動電源 OFF** (p.116) では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
 - ◆ このカメラには起動時間を短縮する機能があります (p.116)。
- ① レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

●● バッテリー残量の表示

液晶モニターの表示で、バッテリー残量を確認できます。



表示	意味
 (白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約 2/3 です。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約 1/3 です。できるだけ早く充電してください。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。充電してください。
 (赤点滅)	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。



4 年、月、日、時、分を設定します。

- ◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選択できます。
- ▲▼ で設定する数字を変更できます。



5 MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。



◆ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

● 設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

言語、日時を変更する

1 セットアップメニューから 言語/LANG. または 日時設定を選びます（[111](#)）。

2 言語または日時を設定します。

- 言語設定：▲▼ で使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 日時設定：◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、設定します。

撮影モードのタッチ操作について

このカメラでは、タッチ操作で静止画を撮影したり、フォーカスエリアを変更したりすることができます。撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタップするごとに、タッチ操作を変更できます。



タッチパネルモード	意味
ショット 	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタップして撮影します。 ◆ AF オートフォーカス設定のリリース優先 / フォーカス優先をフォーカスに設定しているときは 、シャッターがきれるまで長押ししてください (p.96)。 ◆ 連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
AF 	タップした場所にピントを合わせ、AFロックします。シャッターボタンを全押しして撮影します。
エリア選択 	ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動します。
OFF 	タッチ操作を使用しません。

- ◆ セットアップメニューの **タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り換えはできません。
- ◆ 撮影メニューの **タッチパネルモード** でもタッチ操作を切り換えることができます。
- ◆ 再生モードのタッチ操作については、「タッチ操作による再生」(p.38) をご覧ください。

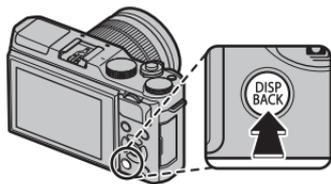
美肌 (美肌) モードについて

撮影モードが **美肌 (美肌)** のときは、美肌モードアイコンをタッチすると、美肌効果のレベルを変更できます。



情報表示について

撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



撮影時

スタンダード



情報表示なし



再生時

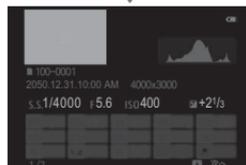
スタンダード



情報表示なし



お気に入り



INFO 画面 1



INFO 画面 2

撮影の準備

「スタンダード」画面のカスタマイズについて

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、 **表示設定の画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 DISP/BACK ボタンを押して、「スタンダード」（情報表示あり）画面に切り換えます。

2 セットアップメニューから  **表示設定の画面のカスタマイズ**を選びます。

3 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。画面に表示する項目は、 が表示されます。 が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。

- ・ フレーミングガイド
- ・ シャッター方式
- ・ AF フレーム
- ・ フラッシュ
- ・ AF 時の距離指標
- ・ 連写モード
- ・ MF 時の距離指標
- ・ プレ防止
- ・ ヒストグラム
- ・ ホワイトバランス
- ・ 撮影モード
- ・ フィルムシミュレーション
- ・ 絞り / シャッター速度 / ISO
- ・ ダイナミックレンジ
- ・ 情報表示背景
- ・ 撮影可能枚数
- ・ 露出補正バー
- ・ 画像サイズ & 画質モード
- ・ フォーカスモード
- ・ 動画モード & 録画時間
- ・ 測光
- ・ バッテリー残量表示

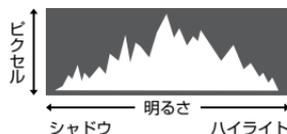
4 各項目を設定し、DISP/BACK ボタンを押します。設定が保存されます。

5 DISP/BACK ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

◆ 表示される場所は  14 をご覧ください。

● ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。



適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。



露出オーバーの場合：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。



露出アンダーの場合：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



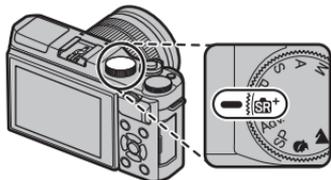
① 被写体によってグラフ形状は異なります。

基本撮影（静止画編） 静止画の撮影と再生

静止画を撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

- 1** モードダイヤルを **Sr+** に合わせると、アドバンスド SR オートの撮影画面が表示されます（[図 47](#)）。



シーンアイコン

カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。



アイコン

カメラが瞳を常に検出し続けることを表すアイコンです。

- ◆ **アドバンスド SR オート (Sr+)** で撮影するとき、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください（[図 28](#)）。
- ◆ **Q ボタン** を押すと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます（[図 43](#)）。

- 2** カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



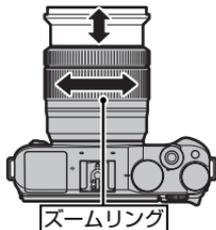
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



- 3** 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



静止画を撮影する

- 4** 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、AF フレームが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。

- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光 (P.97) が発光する場合があります。
- ◆ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。
- ◆ レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

- 5** シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。

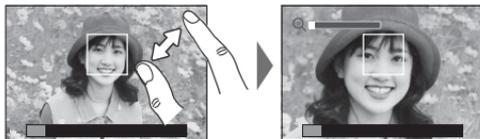


タッチズーム撮影

タッチ操作でデジタルズーム撮影ができます。

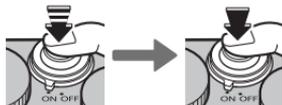
- ◆ 撮影メニューの **タッチパネルモード** がどのモードに設定されていてもタッチズーム撮影は可能です。

- 1** 撮影メニューの **タッチズーム** を ON にします。
- 2** 画面をマルチタッチ (ピンチアウト; P.38) して、デジタルズームの倍率を調整します。



- ◆ 画面のどの場所にマルチタッチしても、デジタルズームは画面中央で行います。
- ◆ フォーカスエリアは **オートフォーカス設定のフォーカスエリア選択** で設定されている位置になります。**タッチパネルモード** が **エリア選択** に設定されているときは、デジタルズーム中でもタップ操作でフォーカスエリアを変更できます。

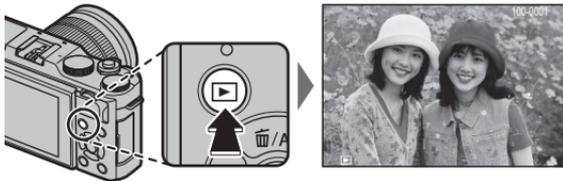
- 3** 撮影します。



静止画を再生する

1 コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示 (1 コマ再生) されます。



1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。
次の画像を見るには ▶ を押します。ボタ
ンを押し続けると、早送りします。



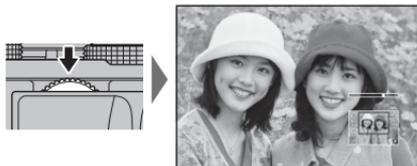
- ◆ メインコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できません。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりすることがあります。

★ お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

● ピントの位置を拡大表示する

サブコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度サブコマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。



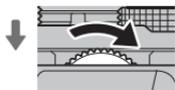
静止画を再生する

再生ズーム

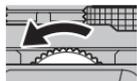
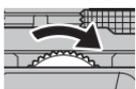
1 コマ再生時にサブコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。



- ◆ 1 コマ再生画面でサブコマンドダイヤルを左に回すと、「マルチ再生」の9コマ画面になります (37)。



右に回すと拡大



左に回すと縮小

拡大表示中に ▲▼◀▶ で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、サブコマンドダイヤルの中央を押します。

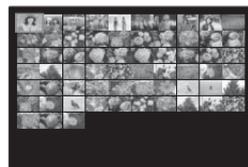
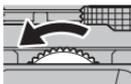
- ◆ 最大ズーム倍率は、撮影時の **画像サイズ** (98) によって変わります。
- ◆ **リサイズ** (107) または **トリミング** (107) の **640** で保存された画像は、再生ズームは使えません。

マルチ再生

再生時に、1コマ、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示して画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。

◆ 1コマ再生画面でサブコマンドダイヤルを右に回すと拡大画像が表示されます（図 36）。

サブコマンドダイヤルを左に回すたびに
表示される画像が増えます。



サブコマンドダイヤルを右に回すたびに
表示される画像が減ります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示します。
- ▲ または ▼ でページを切り換えることもできます。

静止画を再生する

タッチ操作による再生

セットアップメニューの  **タッチパネル設定が ON** のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます (p.116)。

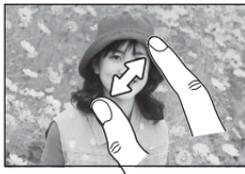
■ スワイプ

画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。



■ マルチタッチ (ピンチアウト)

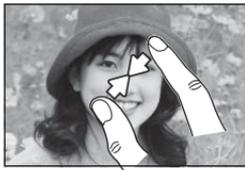
画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。



■ マルチタッチ (ピンチイン)

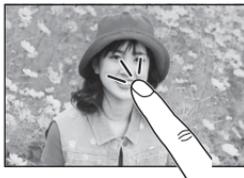
画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。

◆ 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。



■ ダブルタップ

画面を2回タップすると、ピンポイントを合わせた位置を拡大表示できます。



■ ドラッグ

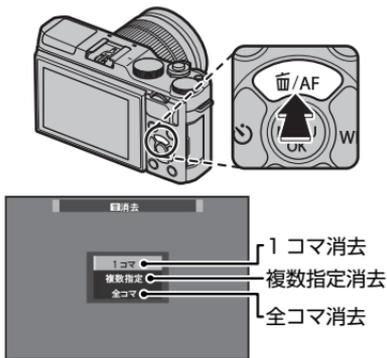
拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。



画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1コマ再生中に  (▲) ボタンを押して、消去方法を選びます。



- ◆ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください(108)。
- ◆ 再生メニューの  消去でも、画像を消去できます(106)。

1 コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

- 1 コマ再生中に  (▲) ボタンを押して、1コマを選びます。



- 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- ◆ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- ◆ MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

画像を消去する

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

◆ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。



1 1コマ再生中に (▲) ボタンを押して、複数指定を選びます。



2 消去する画像を選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。

3 まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。

4 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

1 1コマ再生中に (▲) ボタンを押して、全コマを選びます。



2 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

- ◆ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- ◆ プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます (P.129)。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

基本撮影 (動画編) 動画の撮影と再生

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- 1** **○** (動画撮影) ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

撮影中は、**○** が表示されます。



動画撮影の残り時間
(カウントダウン) が
表示されます。

- ◆ 動画撮影中でもズームリングでズーム操作が行えます (図 33)。

- 2** もう一度 **○** (動画撮影) ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ① 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。

- ◆ タッチズーム撮影で動画は撮影できません (図 34)。
◆ **電子式手ブレ補正**が ON のときは、撮影される範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります (図 103)。

- ◆ 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
◆ 撮影する動画の画像サイズ・フレームレートと感度の設定は、撮影メニューの **動画設定** で変更できます (図 102)。
◆ 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切替レバーで設定します (図 59)。フォーカスモードを **S** にしても、**オートフォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出** が ON のときは、自動的にコンティニュアス AF になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出** を ON にしても顔検出は行われません (図 97)。

- ① 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は ±2 の範囲となります。
① 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
① 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
① 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

● 背景ボケを生かした動画について

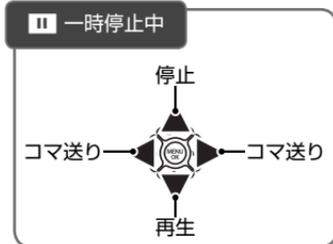
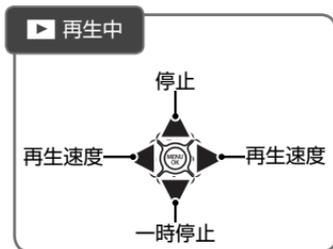
絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。撮影モードを **A** (絞り優先) または **M** (マニュアル) に設定し、絞り値を調整します。絞り値の設定は動画撮影前に行ってください。

動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。



■ 動画再生時の操作方法について



動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲または▼を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定の再生音量** (p.113) でも設定できます

- ① スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。
- ① **電子音 & フラッシュが OFF** の場合は音声再生されません (p.113)。

● 動画の再生速度について

◀または▶を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの▶(◀)の数で表示されます。▶(◀)の数が多いほど速度が速くなります。

再生アイコン



Qボタン /Fnボタン Q (クイックメニュー) ボタン

Qボタンを使う

Qボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。



	メニュー項目	
①	📷 撮影モード	46
②	ISO 感度	80
③	D-Ring ダイナミックレンジ	99
④	WB ホワイトバランス	68
⑤	NR ノイズリダクション	100
⑥	📏 画像サイズ	98
⑦	📷 画質モード	98
⑧	📷 フィルムシミュレーション	86
⑨	📷 ハイライトトーン	100
⑩	📷 シャドウトーン	100
⑪	📷 Color カラー	99

	メニュー項目	
⑫	Sharp シャープネス	100
⑬	🕒 セルフタイマー	75
⑭	📷 AFモード	62
⑮	🔋 フラッシュモード	84
⑯	📷 LCD明るさ	114

- 📷 撮影モードは現在のモードが表示されるためクイックメニューでは変更できません。
- 📷 QボタンでWB ホワイトバランスを設定するときは、📷 カスタムと📷 色温度設定の設定は変更できません。ファンクションボタンまたは撮影メニューで設定してください。

設定の確認と変更

- 1** 撮影画面でQボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。

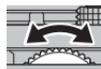


- 2** 設定を変更するメニュー項目を
▲▼◀▶で選びます。



- 3** メインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルで設定値を選びます。

- 📷 各メニューの設定値は、参照ページ先でご確認ください。



- 4** Qボタンを押します。
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

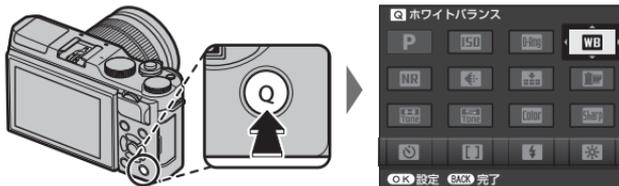


Q ボタンを使う

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1** 撮影画面で Q ボタンを長押しします。
クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



- 2** ▲▼◀▶ で割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

メニューの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられるメニューは次のとおりです。

- 感度
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ノイズリダクション
- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- セルフタイマー
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- 測光
- AF モード
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- プレ防止モード
- MF アシスト
- 動画モード
- 動画感度
- マイクレベル設定
- 電子音 & フラッシュ
- LCD 明るさ
- LCD 鮮やかさ
- シャッター方式
- なし

▼ なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

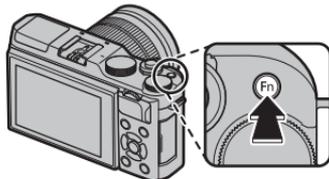
- 3** 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

▼ クイックメニューの割り当ては、**操作ボタン設定 > クイックメニュー登録 / 編集**からも設定できます (p.115)。

Qボタン /Fnボタン Fn (ファンクション) ボタン

ファンクションボタンを使う

Fn (ファンクション) ボタンには機能を1つ割り当てられます。Fn ボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。



Fn ボタンの割り当ては、**操作ボタン設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

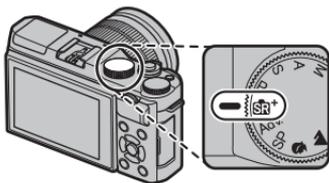
- 被写界深度確認
- 感度
- セルフタイマー
- 画像サイズ
- 画質モード
- ダイナミックレンジ
- フィルムシミュレーション
- ホワイトバランス
- 測光
- タッチズーム
- AE-LOCK
- AF-LOCK
- AE+AF LOCK
- ワンプッシュ AF
- AF モード
- フォーカスエリア選択
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- RAW
- ワイヤレス通信
- シャッター方式
- マニュアル時モニター露出反映
- モニター撮影効果反映
- なし

❖ **なし**を選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

❖ ファンクションボタンの割り当ては、Fn ボタンまたは **DISP/BACK** ボタン長押しでも設定できます。

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせます。



■ P (プログラム)

プログラムシフトができるオートモードです (図 54)。

■ S (シャッタースピード優先)、A (絞り優先)、M (マニュアル)

シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます (図 55、56、57)。

■ SR⁺ (アドバンストSRオート)

カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な撮影モードを設定して撮影できます (図 47)。

■ C (カスタム)

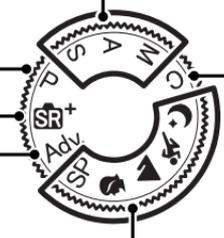
P、S、A、Mモードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を読み出せます (図 58)。

■ Adv. (アドバンストモード)

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます (図 48)。

■ SP (シーンポジション) / / / /

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます (図 53)。



モードダイヤルで撮影モードを変更したい

SR+ (アドバンスドSRオート)

シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。

モードダイヤルを SR+ に合わせると、撮影画面が表示されます。

カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。



■ シーンアイコン

カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

シーン	内容
☉ (☉)	AUTO
☺ (☺)	人物
☼ (☼☼)	風景
☾ (☾☾)	夜景
☺ (☺☺)	マクロ
☺☺ (☺☺)	夜景 & 人物
☺ (☺)	逆光 & 人物

☺ () 内は動くものを認識したときの表示です。

① シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードを P (プログラム) にするか、SP にして適切なシーンポジションを選択してください (P53)。

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

Adv. (アドバンスモード)

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

◆ Adv. モードでは、露出補正 (82) とプログラムシフトの設定 (54) が可能です。

1 モードダイヤルを Adv. に合わせます。



2 Adv. モードの説明画面が表示されている間に MENU/OK ボタンを押します。



◆ 撮影画面が表示された場合は、MENU/OK ボタンを押して撮影メニューを開き、**Adv. モード**を選ぶと、モード選択画面を表示できます (94)。

3 ▲▼で Adv. モードを選びます。



Adv. モード	
Adv. アドバンスフィルター	49
□ パノラマ	50
☑ 多重露出	52

4 MENU/OK ボタンを押します。
アドバンスモードが設定されます。

Adv アドバンスフィルター

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

1 モードダイヤルを Adv. に合わせ、**Adv** アドバンスフィルターを選びます (48)。

2 ▲▼ で使用するアドバンスフィルターを選びます。

以下のフィルター効果を選べます。

アドバンスフィルター	効果
トイカメラ	トイカメラ風な写真に仕上がります。
ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
ハイキー	全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
魚眼	魚眼レンズのような効果が得られます。
ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
クロススクリーン	光源の光を放射状に強調します。クロススクリーンの効果は撮影画像でご確認ください。
パートカラー (レッド)	特定の色域 (カッコ内の色) だけを残し、残りをモノクロにします。
パートカラー (オレンジ)	
パートカラー (イエロー)	
パートカラー (グリーン)	
パートカラー (ブルー)	
パートカラー (パープル)	

◆ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。

3 MENU/OK ボタンを押します。

アドバンスフィルターが設定されます。

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

パノラマ撮影

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な 1 枚のパノラマ写真を作成します。

1 モードダイヤルを **Adv.** に合わせ、**パノラマ** を選びます (図 48)。

2 撮影する角度 (撮影画角) を選びます。

◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。



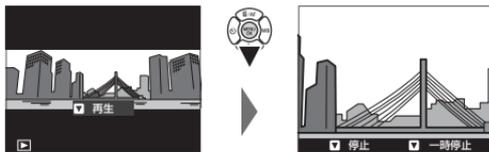
● うまく撮影するには

- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を 35mm (35mm フィルム判で 50mm 相当) 以下で撮影することをおすすめします。

- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- ① 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様に変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- ① 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

● パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- ◆ パノラマ写真を 1 コマ再生しているときは、サブコマンドダイヤルで拡大 / 縮小表示できます。
- ◆ パノラマ再生時の操作は、セレクターボタンで行います。

	1 コマ再生中	再生中	一時停止中
▲ (上)	—	停止	
▼ (下)	再生	一時停止	再生
◀▶ (左右)	—		コマ送り

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

多重露出

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



1 モードダイヤルを **Adv.** に合わせ、**多重露出** を選びます (48)。

多重露出 の撮影画面になります。

2 1枚目の画像を撮影します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。



◆ 1枚目の画像を撮り直す場合は **◀** を押してください。

◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

4 2枚目の画像を撮影します。



◆ 1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。



◆ 2枚目の画像を撮り直す場合は **◀** を押してください。

SP (シーンポジション) / / / /

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

1 モードダイヤルを SP に合わせます。



3 ▲▼でシーンを選びます。



/ / / モードで撮影する場合

モードダイヤルをそれぞれのアイコンに合わせてください。

シーン	機能
 美肌 (G)	肌をなめらかに撮影します。 ▼  タッチパネル設定が ON のときは、タッチ操作で美肌効果のレベルを変更できます (P.30)。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。

シーン	機能
 人物	人物の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花	花を色鮮やかに撮影します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

2 SP モードの説明画面が表示されている間に **MENU/OK** ボタンを押します。



▼ 撮影画面が表示された場合は、**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを開き、 **シーン選択** を選ぶと、モード選択画面を表示できます (P.94)。

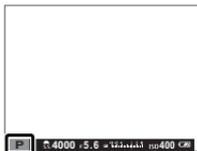
4 **MENU/OK** ボタンを押します。
シーンポジションが設定されます。

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

P (プログラム)

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。

モードダイヤルを **P** に合わせると、表示画面に **P** が表示されます。



● プログラムシフトの設定

サブコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。



- ◆ プログラムシフトが設定されているときは、シャッタースピードと絞り値が黄色で表示されます。
- ◆ 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

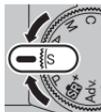
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- 撮影メニューの **ダイナミックレンジ** が **AUTO** のとき (99)

- ◆ メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 12 をご覧ください。

S (シャッタースピード優先)

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

- 1** モードダイヤルを **S** に合わせます。
表示画面に **S** が表示されます。



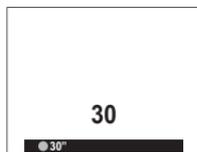
- 2** サブコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。



- ① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- ◆ メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 12 をご覧ください。

● タイム撮影

シャッタースピードを 1 秒以上に設定すると、タイム撮影になります。



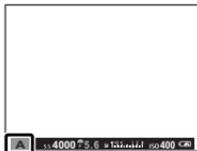
- ◆ カメラが動くときピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。
- ◆ 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。
- ◆ 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**長秒時ノイズ低減**を **ON** (100) にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- ◆ 別売のリモートリリース **RR-90** を使用すると、長時間露光撮影時に便利です。

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

A (絞り優先)

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

- 1** モードダイヤルを **A** に合わせます。
表示画面に **A** が表示されます。



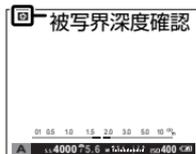
- 2** サブコマンドダイヤルを回して、絞り値を設定します。



- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- ② メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 12 をご覧ください。

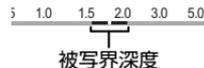
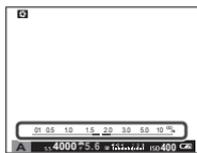
被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに **被写界深度確認** を割り当てます (45)。割り当てたファンクションボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。



被写界深度を確認するには、以下の設定が必要です。

- **表示設定 > 画面のカスタマイズ** で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に を入れる。
- **DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」(情報表示あり) 画面に切り換える。



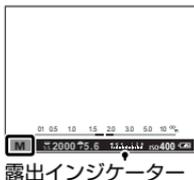
M (マニュアル)

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。

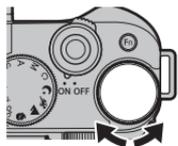
- 1** モードダイヤルを **M** に合わせます。
表示画面に **M** が表示されます。



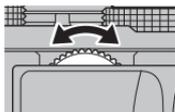
- 露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



- 2** メインコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、サブコマンドダイヤルを回して絞り値を設定します。



シャッタースピード



絞り値

- メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 12 をご覧ください。

● 露出設定プレビューについて

[ON] 表示設定 > マニュアル時モニター露出反映が ON のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



- フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出反映を OFF にしてください。

● バルブ撮影

メインコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを **BULB** に設定すると、バルブ撮影になります。



- カメラが動くときピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**[ON]** 長時ノイズ低減を ON にすると、ノイズを低減できます（**[ON]** 100）。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 別売のリモートリリース **RR-90** を使用すると、長時間露光撮影時に便利です。

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

C (カスタム)

P、S、A、Mモードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出せます。設定は、撮影メニューの  **カスタム保存** で保存します。

モードダイヤルを **C** に合わせると、保存した設定を呼び出せます。



● カスタムモードの保存について

 **カスタム保存** で保存できる撮影条件は次のとおりです。

■ 撮影メニュー

-  オートフォーカス設定
(AFモード、顔検出/瞳AF設定)
-  ISO感度
-  画質モード
-  フィルムシミュレーション
-  WB ホワイトバランス
-  Sharp シャープネス
-  Shade シャドウトーン
-  MFアシスト
-  フラッシュ設定
(フラッシュモード、フラッシュ調光補正)
-  動画設定
(動画モード、動画感度、マイクレベル設定)
-  ブレ防止モード
-  画像サイズ
-  D-Ring ダイナミックレンジ
-  セルフタイマー
-  Color カラー
-  ハイライトトーン
-  NR ノイズリダクション
-  測光
-  シャッター方式

■ セットアップメニュー

-  電子音 & フラッシュ
-  表示設定 (LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ)

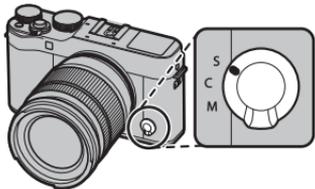
■ その他

- シャッタースピード
- 絞り値

ピントに関する設定を変更したい

ピント合わせの方法を変更（フォーカスモード）

フォーカスモード切換レバーで、ピント合わせの方法を変更できます。



設定	説明
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニユアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (60)。

- ◆ フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**AF** オートフォーカス設定の **プリ AF** を **ON** にすると (97)、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。
- ◆ フォーカスモードが **C** のときは、**AF** オートフォーカス設定の **瞳 AF** は機能しません。

■ 合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。



合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときに、ピントが合って固定されています。
● (緑点灯)	C のときに、ピントが合っています。 ◆ 被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。

● 拡大表示してピントを確認する

サブコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度サブコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます (63)。

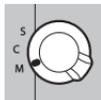


- ◆ フォーカスモードが **S** のときは、**AF** オートフォーカス設定の **AF** モードを **シングルポイント** に設定してください。
- ◆ フォーカスモードが **C** または **AF** オートフォーカス設定の **プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。

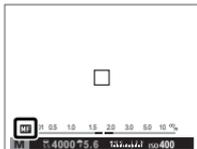
ピントに関する設定を変更したい

M (マニュアルフォーカス) での撮影方法

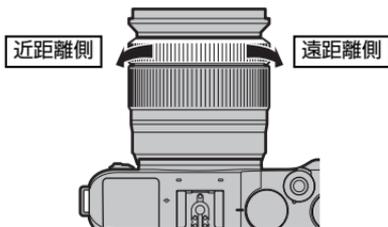
- 1** フォーカスモード切換レバーで **M** を選びます。



画面に **MF** が表示されます。

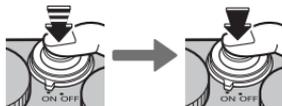


- 2** フォーカスリングを回してピントを合わせます。フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- ◆ フォーカスリングを回す方向は、セットアップメニューの **フォーカスリング** (115) で設定できます。

- 3** 撮影します。



- ◆ レンズ側でマニュアルフォーカスを設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **C** または **S** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。

- ◆ マニュアルフォーカス時に **Fn** ボタンを使う (45)
Fn ボタンにワンプッシュ AF を割り当てた場合は、**Fn** ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。素早くピントを合わせたいときに便利です。

マニュアルフォーカスにおけるピントの確認方法

マニュアルフォーカスでは、以下の方法でピントを確認できます。

■ ピーキングで確認する

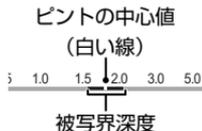
MF MFアシストをフォーカスピーキングに設定すると、コントラストの高い輪郭部分が強調されます(図 101)。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



- ◆ サブコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MF** MFアシストの設定を切り換えることができます。

■ 距離指標を目安にする

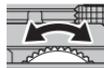
白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定の距離指標の単位**でメートルとフィートを切り換えられます(図 115)。



■ 拡大表示して確認する(フォーカスチェック)

表示設定のフォーカスチェックを ONにすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります(図 115)。サブコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます(図 63)。

- ◆ 拡大表示中にサブコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。



ピントに関する設定を変更したい

AFモードの選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** **AF** オートフォーカス設定 > **AF モード** を選び、MENU/OK ボタンを押します。
AF モードの設定画面が表示されます。
- 3** 使用する AF モードを選びます。

設定	用途例
 シングルポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアでピントを合わせます (図 63)。 ◆ 被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアでピントを合わせます (図 63)。77 のエリアの中から 5×3、5×5、3×3 のゾーンを選択できます。 ◆ 動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/トラッキング	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S のとき (ワイド) : シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置にフォーカスエリアが表示されます。 フォーカスモードが C のとき (トラッキング) : フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます (図 63)。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 ① 小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
AF モードが設定されます。

フォーカスエリア選択

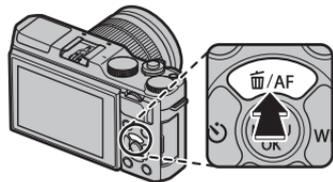
▲(AF) ボタンを押すと、フォーカスモード (61) を **S** または **C** に設定したときのピント合わせのエリアを変更できます。

- ◆ **AF モード** (62) の設定によって、操作が異なります。
- ◆ 撮影メニューの **AF オートフォーカス設定** からフォーカスエリアを変更できます (96)。
- ◆ フォーカスモードを **M** に設定しているときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

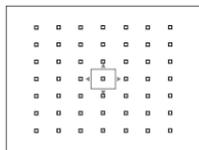
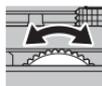
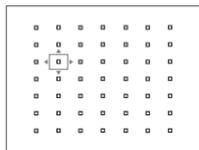
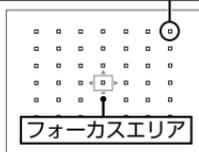
■ AF モードがシングルポイントの場合

▲(AF) ボタンを押すと、フォーカスエリアポイント (□) とフォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

- ▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。
 - ◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。
- サブコマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。
 - ◆ 左に回すとサイズが小さく (最小 50%)、右に回すとサイズが大きく (最大 150%) になります。サブコマンドダイヤルの中央を押すと、100%に戻ります。



フォーカスエリアポイント



ピントに関する設定を変更したい

■ AFモードがゾーンの場合

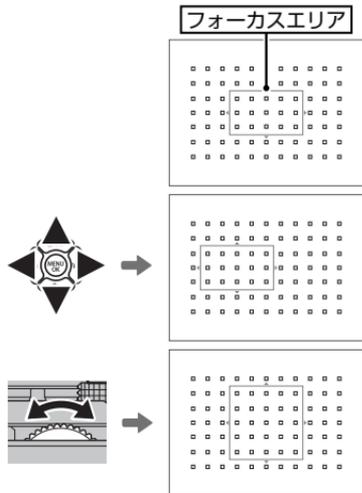
▲ (AF) ボタンを押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、MENU/OK ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

・ ▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。

◆ DISP/BACK ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

・ サブコマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。

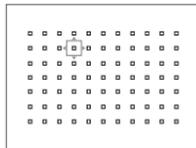
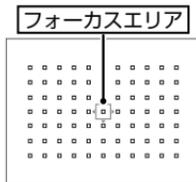
◆ 右に回すとサイズが5×5、3×3、5×3、5×5の順で拡大されます。左に回すと逆の順に大きさが変わります。サブコマンドダイヤルの中央を押すと、5×3に戻ります。



■ AFモードがトラッキングの場合

▲ (AF) ボタンを押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、**MENU/OK** ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きと位置に合わせてピントを合わせ続けます。

- ◆ AFモードがワイド/トラッキングのときのフォーカスエリア選択は、フォーカスモードがCのときのみ有効です。
- ◆ フォーカスエリアは、▲▼◀▶で移動できます。**DISP/BACK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。



AE/AF ロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

- 1** ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。



- 2** シャッターボタンを半押しします。被写体にピントと露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



◆ シャッターをきる前なら、AE/AF ロックは何度でもやり直せます。



- 3** 半押ししたまま構図を変えます。被写体との距離は変えないでください。



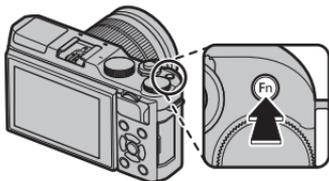
- 4** そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。



●● Fn ボタンを使う

Fn ボタンに機能を割り当てて AE/AF ロックできます (図 45)。

割り当て	説明
AE-LOCK	露出が固定 (AE ロック) されます。
AF-LOCK	ピントが固定 (AF ロック) されます。
AE+AF LOCK	ピントと露出の両方が固定されます。



◆ Fn ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。

●● オートフォーカスの苦手な被写体について

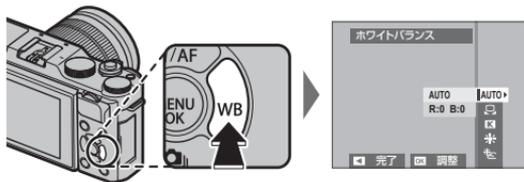
このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前にある被写体など)

ホワイトバランスを変更したい

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

- 1** ▶ (WB) ボタンを押します。
 ホワイトバランスの設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼ でホワイトバランスを選びます。
- MENU/OK ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。
 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。
 - DISP/BACK ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- ◆ 撮影メニューからもホワイトバランスを設定できます (p.99)。



■ ホワイトバランスの設定

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します (p.69)。
K	色温度を設定します (p.70)。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

- ◆ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- ◆ フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください (p.84)。

☑ カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

◆ 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面から  を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

◆ MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

3 シャッターボタンを全押しして設定します。



◆ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。



4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。



「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



「OVER」と表示されたときは-（マイナス）側に、「UNDER」と表示されたときは+（プラス）側に露出補正 (p.82) してから、再度測定してください。

ホワイトバランスを変更したい

❏ 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

- ❖ 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



- 2 ▲▼ で色温度を選び、MENU/OK ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。



- ❖ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に DISP/BACK ボタンを押してください。

- 3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

- 4 MENU/OK ボタンを押します。
- 色温度が設定されます。

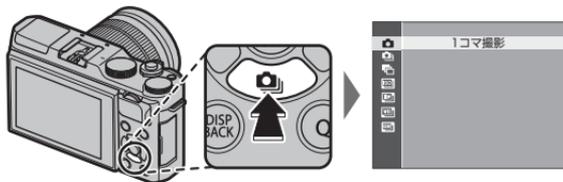
● 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



連写画像を撮影したい

連続撮影やブラケティング撮影は ▼ (📷) ボタンを押して、連写選択画面から使用するモードを選びます。



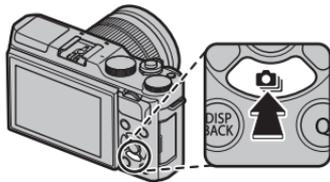
連写モード	使用できる撮影モード	📖
📷 1 コマ撮影	全モード	—
📷 連写	📷 ⁺ 、P、S、A、M、📷、▲、📷、C、SP	72
📷 AE ブラケティング	P、S、A、M	73
ISO ISO ブラケティング	P、S、A、M	73、74
📷 フィルムシミュレーションブラケティング	P、S、A、M	73、74
WB ホワイトバランスブラケティング	P、S、A、M	73、74
DR ダイナミックレンジブラケティング	P、S、A、M	73、74

連写画像を撮影したい

連続撮影（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1** ▼ (📷) ボタンを押します。
連写選択画面が表示されます。



- 2** ▲▼ で連写を選びます。
連写設定画面が表示されます。

- 3** ◀▶ で連写速度を選びます。
📷：高速
📷：低速

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
連写が設定されます。

- 5** 構図を決めてピントを合わせます。



- 6** シャッターボタンを押します。
シャッターボタンを押し続けている間、各連写速度に応じたコマ数で連続撮影します。

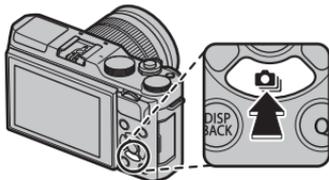


- ① 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます (P.117)。
- ① 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- ① 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- ① シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- ① フラッシュは使用できません。ただし、通常に撮影すると、連写前に使用していたフラッシュ設定に戻ります。
- ① 連続撮影では、撮影したファイルを記録する時間が長くなることがあります。

ブラケット撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケット撮影ができます。ブラケットは、▼ (Q) ボタンを押して表示される連写選択画面から選択します。

- 1** ▼ (Q) ボタンを押します。
連写選択画面が表示されます。



- 2** ▲▼ で使用したいブラケットの種類を選びます。

- AE : AE ブラケット
- ISO : ISO ブラケット
- BKT : フィルムシミュレーション BKT
- WB : ホワイトバランス BKT
- DR : ダイナミックレンジ BKT

- 3** 設定値を選べるブラケットの場合、◀▶ で設定を選びます。
設定値がない場合、手順 4 に進みます。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
ブラケットの種類と設定が決定されます。

- 5** 構図を決めてピントを合わせます。



- 6** シャッターボタンを押します。



AE ブラケット

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3 枚連続で撮影します。

- 露出を変える範囲は、AE ブラケットを選んでから ◀▶ で選びます。

設定	説明
± 1	露出を 1EV ずつ変更しながら撮影します。
± %	露出を %EV ずつ変更しながら撮影します。
± 1/3	露出を 1/3EV ずつ変更しながら撮影します。

- ① アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した設定値きざみで撮影されません。

連写画像を撮影したい

ISO ブラケットिंग

撮影した 1 枚の画像から、ISO 感度 (☞ 80) を変化させて 3 枚の画像を作成します。ISO 感度の変化する段階は、設定感度 ISO200 ~ 6400 までの間で 1/3 段ずつステップ幅を変更できます。

◆ ISO 感度の変化する段階は、**ISO ブラケットिंग**を選んでから ◀▶ で選びます。

設定	説明
± 1	ステップを 1 段に設定します。
± %	ステップを 2/3 段に設定します。
± 1/3	ステップを 1/3 段に設定します。

フィルムシミュレーションブラケットिंग

撮影した 1 枚の画像から、フィルムシミュレーション (☞ 86) の設定をそれぞれ選んだ設定に変化させて 3 枚の画像を作成します。

◆ 変化させるフィルムシミュレーションのそれぞれの設定は、撮影メニューのフィルムシミュレーション **BKT** で変更します (☞ 99)。

ホワイトバランスブラケットिंग

一度シャッターボタンを押すと、選んだホワイトバランス (☞ 68) の色温度を、設定したステップずつ変化させて 3 枚の画像を作成します。

◆ ステップ幅を変える範囲は、**ホワイトバランス BKT** を選んでから ◀▶ で選びます。

設定	説明
± 3	3 ステップずつ変化させます。
± 2	2 ステップずつ変化させます。
± 1	1 ステップずつ変化させます。

ダイナミックレンジブラケットिंग

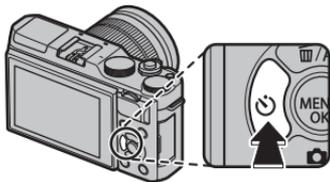
一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジ (☞ 99) の設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3 枚連続で撮影します。

◆ 感度を固定値に設定しているときは自動的に ISO800 以上になり、感度を **AUTO1 ~ 3** に設定しているときは ISO 200 ~ 800 になることがあります。ダイナミックレンジブラケットिंगを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

セルフタイマーを使って撮影する

撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐための撮影には、セルフタイマーをお使いください。また、条件を満たすと自動的に撮影されるセルフタイマーも用意されています。

- 1** ◻ ボタンを押します。
セルフタイマーの設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼ でセルフタイマーを設定します。

- ◻ : 2 秒後撮影 (76)
- ◻ : 10 秒後撮影 (76)
- ☺ : スマイル撮影 (76)
- ☺ : カップルタイマー撮影 (77)
- ☺ : グループタイマー撮影 (77)
- OFF : セルフタイマー OFF

- 3** MENU/OK ボタンを押します。
セルフタイマーが設定されます。

- ◆ セルフタイマーは撮影メニューからも設定できます。
- ◆ タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

- ① シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。
- ① セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。
- ◆ セルフタイマーを ☺ (スマイル)、☺ (カップル)、☺ (グループ) に設定すると、**AF オートフォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**は自動的に**顔検出 ON / 瞳 AF OFF**になります。セルフタイマーを **OFF** にすると、設定は元に戻ります。

セルフタイマーを使って撮影する

2 秒後撮影 / 10 秒後撮影

- 1** セルフタイマーの設定画面で、 (2 秒) または  (10 秒) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します (p.75)。

設定	説明
 2 秒 (2 秒後撮影)	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
 10 秒 (10 秒後撮影)	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。

- 2** シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。

画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。



- 3** カウントダウンが終わると同時に自動的に撮影されます。

スマイル撮影

被写体（人物）が笑顔になった瞬間に自動的に撮影されます。

- 1** セルフタイマーの設定画面で、 (スマイル) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します (p.75)。
- 2** カメラを被写体（人物）に向けると、顔検出 (p.97) が行われます。
- 3** 顔検出で笑顔が検出されると、自動的に撮影されます。



- ① 前髪が目にかかっていたり、カメラに対して正面に向いていなかったりすると、検出されにくくなります。
- ② 顔検出の 1 人でも笑顔が検出されると、自動的に撮影されます。

カップルタイマー撮影

設定した距離に2人の顔が近づくと自動的に撮影されます。

1 セルフタイマーの設定画面で、 (カップル) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します (p.75)。

2 2人の距離レベルを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

LV.1 : 手をつなく距離

LV.2 : 肩を寄せた距離

LV.3 : 顔を寄せた距離

◆ 撮影画面には、 の数で距離レベルを表示します。

3 検出された2人の顔の距離が設定した距離レベルになると、カウントダウン(1秒)が開始され自動的に撮影されます。



◆ 設定した距離レベル ( の数) にならないと、カウントダウンは開始されません。

グループタイマー撮影

設定した人数が揃ったときに自動的に撮影されます。

1 セルフタイマーの設定画面で、 (グループ) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します (p.75)。

2 撮影する人数を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

1人

2人

3人

4人

◆ 撮影画面には、 の数で人数を表示します。

3 検出された顔が設定した人数になると、カウントダウン(2秒)が開始され自動的に撮影されます。



◆ 設定した人数 ( の数) にならないと、カウントダウンは開始されません。

インターバルタイマーを使って撮影したい

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

1 MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で  インターバルタイマー撮影を選択し、MENU/OK ボタンを押します。
インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



3 ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。
開始時間設定画面が表示されます。



4 ▲▼◀▶ で開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。
インターバルタイマー撮影が開始されます。

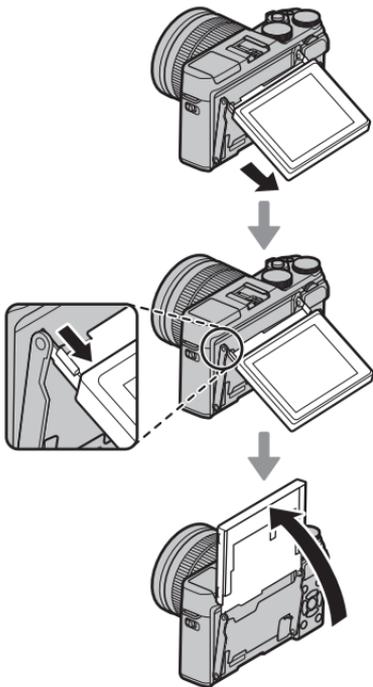


① バルブ撮影、パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

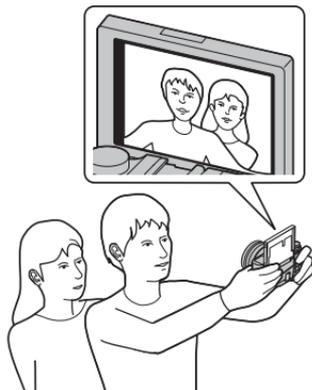
- ◆ 三脚のご使用をおすすめします。
- ◆ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。別売のACアダプター **AC-9V**、DC カプラー **CP-W126** を併せてご使用ください。
- ◆ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ◆ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを全押しすると、画面表示が復帰します。

自分撮りをしたい（セルフイー）

自分撮りをするときには、液晶モニターを下図のように回転させます。



- ◆ 液晶モニターを 180° 回転すると、自動的に **AF** オートフォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON / 瞳 AF AUTO になります (P.97)。
- ◆ 液晶モニターを 180° 回転すると、**表示設定** > 撮影画像表示の設定にかかわらず、撮影後必ず撮影結果が 1.5 秒表示されます (P.114)。
- ◆ 液晶モニターを 180° 回転しているときは、サブコマンドダイヤルの中央を押すと撮影できます。
- ◆ 液晶モニターを 180° 回転すると、画像が鏡像表示になります。自分撮りをするときには鏡を見るようなイメージで撮影できます。



ISO 感度を変更したい

光に対する感度を変更できます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** ▲▼ で ISO 感度を選び、MENU/OK ボタンを押します。
ISO 設定画面が表示されます。
- 3** ▲▼ で設定値を選びます。

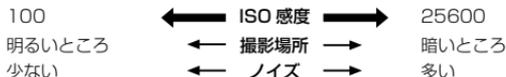
設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます (81)。
6400 ~ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H(25600) H(12800) L(100)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
ISO 感度が設定されます。

- ◆ 拡張感度を選択できる条件は、「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください (158)。
- ◆ 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- ◆ 拡張感度 L のときに、画質モード (98) を **RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW** に設定すると、感度は自動的に **200** になります。
- ◆ 拡張感度 H のときに、画質モード (98) を **RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW** に設定すると、感度は自動的に **6400** になります。

ISO 感度の設定について

感度の設定値が大きいくほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。



■ AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、以下の項目が設定できます。

設定	工場出荷時の設定値
基準 ISO 感度	200
上限 ISO 感度	800 (AUTO1)、1600 (AUTO2)、3200 (AUTO3)
低速シャッター限界	1/60

基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

- ◆ 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- ◆ 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

露出を補正したい

メインコマンドダイヤルを回すと、画像の明るさを調整できます。



露出補正バー

+補正 (右に回す)
(暗い画像を明るくします)



-補正 (左に回す)
(明るい画像を暗くします)



● 露出補正の目安

• 逆光の人物撮影：
+ $\frac{1}{2}$ EV ~ +1EV



• スキー場などの反射が強く明るい場所：+1EV



- 画像の大部分を空が占める場合：+1EV
- スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：
- $\frac{1}{2}$ EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：- $\frac{1}{2}$ EV

● EV とは

露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや画像素子などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより画像素子に与える光量を一定にしています。画像素子に与えられる光量が2倍になるとEV値は+1、半分になるとEV値は-1変化します。

明るさの測定方法を変更したい（測光モード）

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** ▲▼ で  測光を選び、MENU/OK ボタンを押します。
測光モードの設定画面が表示されます。
- 3** ▲▼ で測光モードを選びます。

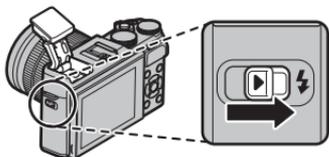
設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
測光モードが設定されます。
- ① 測光モードを変更するときは、 オートフォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 OFF / 瞳 AF OFF にしてください (p.97)。

フラッシュを使って撮影したい

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1** フラッシュポップアップスイッチをスライドして、フラッシュをポップアップします。
- 2** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 3**  フラッシュ設定からフラッシュモードを選び、MENU/OK ボタンを押します。
フラッシュ設定画面が表示されます。
- 4** 使用するフラッシュモードを選びます。



フラッシュ	説明
オート (表示なし)	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
 強制発光	周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
 スローシンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
 後幕シンクロ	シャッターを閉じる直前にフラッシュが発光します。
 コマンダー	スレープ対応の外部フラッシュを同調させます。
 発光禁止	周囲や被写体の明るさに関わらず、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。 🔒 フラッシュを閉じてても発光禁止になります。

- 5** MENU/OK ボタンを押します。
フラッシュモードが設定されます。

- ① ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
- ① ホットシューにアクセサリを取り付けた状態でフラッシュポップアップボタンを押すと、フラッシュがアクセサリに触れる場合がありますので十分にご注意ください。
- ❖ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
- ❖ フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します（コマンダーモードを除く）。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

● 顔検出と赤目補正がオンのときのフラッシュ設定について

顔検出 (📖 97) と赤目補正 (📖 102) をオンにした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 (赤目軽減オートフラッシュ)、 (赤目軽減 + 強制発光フラッシュ)、 (赤目軽減 + スローシンクロ)、 (赤目軽減 + 後幕シンクロ) から設定できます。

 (赤目軽減オートフラッシュ) は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。



● フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $\frac{1}{60}$ 秒以下です。

● 別売フラッシュについて

このカメラでは、富士フィルム製のクリップオンフラッシュが使用できます (📖 135)。

● 他社製のフラッシュをお使いなるときのご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

フィルムシミュレーションで画像を撮影したい

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** ▲▼ で  フィルムシミュレーションを選択し、MENU/OK ボタンを押します。
フィルムシミュレーション設定画面が表示されます。
- 3** フィルムシミュレーションの設定値を選びます。
フィルムシミュレーションの設定値は以下のとおりです。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色をおさえて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードです。
 モノクロ (フィルターなし)	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
 モノクロ +Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
 モノクロ +R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
 モノクロ +G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

- 4** MENU/OK ボタンを押します。
フィルムシミュレーションが設定されます。
- ◆ フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です (P.100)。

RAW 画像を撮影・現像したい

RAW 画像の撮影

RAW 画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。撮影した RAW 画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューの **RAW 現像** (p.88) でさまざまな設定を行ってから JPEG に保存 (現像) できます。RAW 画像は撮影メニューの **画質モード** (p.98) で設定します。

- 1 MENU/OK ボタンを押します。**
撮影メニューが表示されます。
- 2 ▲▼ で **画質モード** を選択し、MENU/OK ボタンを押します。**
画質モードの設定画面が表示されます。
- 3 ▲▼ で RAW 画像を選びます。**

設定	用途例
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

- 4 MENU/OK ボタンを押します。**
RAW 画像が設定されます。

- ① パソコンで RAW 画像を現像するには、パソコンに RAW FILE CONVERTER がインストールされている必要があります (p.125)。
- ① 画質モードが **RAW**、**FINE+RAW**、**NORMAL+RAW** のときは、拡張感度 (p.80) は設定できません。

● Fn ボタンを使って RAW 画像を撮影する

撮影メニューの **画質モード** で **FINE** または **NORMAL** を選択していても、**Fn** ボタンに **RAW** を割り当てておくと、**Fn** ボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます (p.45)。

設定されている画質モード	Fn ボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

再度 **Fn** ボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

RAW 画像を撮影・現像したい

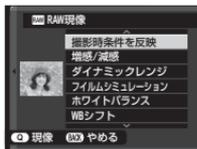
RAW 画像の現像（カメラ内 RAW 現像）

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

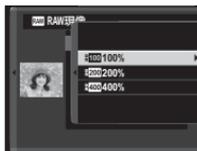
2 MENU/OK ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

3 ▲▼ で **RAW** RAW 現像を選び、
MENU/OK ボタンを押します。
設定できる機能の一覧が表示
されます。



4 ▲▼ で変更する項目を選びます。

5 ▶ で設定の変更に移ります。



6 ▲▼ で設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。
手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押します。
JPEG 画像が保存されます。

Q ボタン

RAW 画像の再生時に Q ボタンを押すと、**RAW** RAW 現像を表示できます。

■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	📖
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	- 1EV ~ + 3EV まで ½EV ステップ	82
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまに近い写真を撮影できます。	#100 / #200 / #400	99
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STD / V / S / C / N / N ₂ / B / B ₂ / B ₃ / B ₄ / B ₅	86
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / ☐ / 📷 / 🌞 / 🌅 / 🌄 / 🌄 / 🌄 / 🌄	68
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	- 9 ~ + 9	68
カラー	撮影画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは濃いに、薄くしたいときは薄いに設定します。	濃い / やや濃い / 標準 / やや薄い / 薄い	99
シャープネス	撮影画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできません。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	100
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	100
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	100
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	強 / やや強 / STD / やや弱 / 弱	100
色空間	画像に適用する色空間を設定します。	sRGB / Adobe RGB	118

M マウントレンズで撮影したい

マウントアダプター設定

別売の M マウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用すると M マウントレンズで撮影できます。

マウントアダプターのファンクションボタンを押すと、**LENS** マウントアダプター設定メニューが表示されます。



- ◆ **LENS** レンズなしリリースが ON になり、スタンダード表示時の距離指標バーが非表示になります。
- ◆ フォーカスチェックを行うときは、フォーカスモード切替レバーを **M** (マニュアルフォーカス) に設定してください (p.59)。

焦点距離設定

ご使用のレンズの焦点距離が 21mm、24mm、28mm、35mm のいずれかの場合は、**LENS** マウントアダプター設定のレンズ 1～4 からご使用のレンズの焦点距離を選んでください。

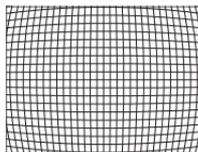
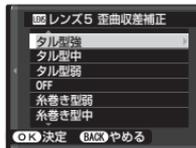
21mm、24mm、28mm、35mm 以外のレンズをご使用になる場合は**レンズ5**または**レンズ6**を選び、**▶**を押して焦点距離設定メニューを表示させ、ご使用になるレンズの実焦点距離を **▲▼◀▶** で設定してください。



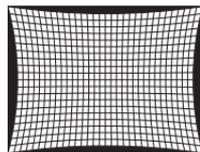
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。

「タル型」と「糸巻き型」の補正を、それぞれ「強」「中」「弱」の3段階で補正できます。



タル型

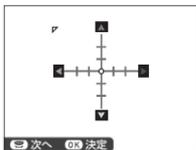


糸巻き型

- ◆ 歪曲収差補正を効果的に行うためには、方眼紙やビルの窓などの複数の方形画像を撮影し、その画像で最適化してください。

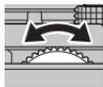
色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。



■ 補正方法

- 1 サブコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 ▲▼◀▶ で補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。



- **レッド/シアン（横軸方向）**：-9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - **ブルー/イエロー（縦軸方向）**：-9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。
- ◆ 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。

補正量は、-5 ~ +5 までと 0（ゼロ）の計 11 段階から選べます。



プラス側に補正すると周辺光量が上がります。オールレンズでの補正に有効です。マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

- ◆ 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

フォトブックを作成したい

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

- 1** 再生メニューから  フォトブックアシストを選びます。
- 2** 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。
フォトブックの新規作成画面が表示されます。
- 3** 画像を選択します。
▲ で表示されている画像を選択または選択解除し、▼ で表示されている画像を表紙にします。
◆ 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
◆ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。
- 4** 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。
- 5** 作成終了を選びます。
◆ 全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。
- 6** MENU/OK ボタンを押します。
フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

- ① フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- ① 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

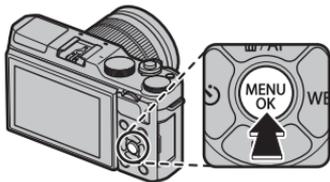
- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです (92)。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

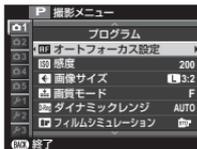
撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 3** ▶ で設定の変更に移ります。



- 4** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 5** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 6** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。



撮影メニュー一覧

◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

📷 シーン選択

モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます (📖 53)。

📷 Adv. モード

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます (📖 48)。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

AF オートフォーカス設定

オートフォーカスに関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容													
フォーカスエリア選択	フォーカスモードが S または C のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが M のときは、オートフォーカスでピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます (P.63)。													
AF モード	フォーカスモードが S または C のときの AF モードを設定します (P.62)。													
レリーズ優先 / フォーカス優先	シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが AF-S のときと、 AF-C のときのそれぞれを個別に設定できます。													
	設定	説明												
	レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。												
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。													
AF+MF	<p>ON にすると、フォーカスモードが S のときにシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。</p> <p>◆ MF アシスト でフォーカスピーキングを選んでいる場合は、フォーカスピーキングでピントの確認ができます。</p> <p>① 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを S、レンズ側を距離指標モード (MF) に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。</p> <p>② 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください (フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります)。</p> <p>● AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について</p> <p>☑ 表示設定のフォーカスチェック を ON にすると、AF モードがそれぞれ以下のときにフォーカス位置を拡大表示できます。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">■ 拡大する位置</th> </tr> <tr> <th>AF モード</th> <th>AF+MF 操作時の MF 拡大表示位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シングルポイント</td> <td>エリア選択位置</td> </tr> <tr> <td>ゾーン</td> <td>拡大しない</td> </tr> <tr> <td>ワイド/トラッキング</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 拡大率</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>フォーカスリングの回転</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5 倍または 6 倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ AF+MF では、倍率変更できません。MF 操作時に設定されていた拡大表示倍率になります。</p>		■ 拡大する位置		AF モード	AF+MF 操作時の MF 拡大表示位置	シングルポイント	エリア選択位置	ゾーン	拡大しない	ワイド/トラッキング		フォーカスリングの回転	2.5 倍または 6 倍
■ 拡大する位置														
AF モード	AF+MF 操作時の MF 拡大表示位置													
シングルポイント	エリア選択位置													
ゾーン	拡大しない													
ワイド/トラッキング														
フォーカスリングの回転														
2.5 倍または 6 倍														

AF オートフォーカス設定 (続き)

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を ON にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、瞳 AF を ON にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



緑色の枠

設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- ① 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- ① 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
- ◆ 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- ◆ カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
- ◆ 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- ◆ メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。

設定：ON/OFF

- ① ON にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：ON/OFF

- ◆ 電子音 & フラッシュを OFF にすると、AF 補助光は発光しません。

- ① シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ① マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ① 人の目に近づけて発光させないでください。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

ISO 感度

光に対する感度を変更できます (☞ 80)。

📷 画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定	用途例
L 3:2 / L 16:9 / L 1:1	A3、四切 (254mm×305mm)、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 3:2 / M 16:9 / M 1:1	六切 (203mm×255mm)、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 3:2 / S 16:9 / S 1:1	DSC (89mm×119mm)、L (89mm×127mm)、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。

◆ 📷 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

📷 画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

📷 画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	用途例
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

D-Range ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO	#100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
(自動調整)	#200 200%	
	#400 400%	↑ ↓ コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

① ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

◆ ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。

◆ #200 200%は感度がISO400以上、#400 400%はISO800以上のときに設定できます。

F フィルムシミュレーション

撮影する画像の発色や階調を変更できます (86)。

F フィルムシミュレーションBKT

F フィルムシミュレーションブラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます (74)。

T セルフタイマー

セルフタイマーを使用できます (75)。

T インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影を設定できます (78)。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます (68)。

Color カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。

設定：(+2)濃い/(+1)やや濃い/(0)標準/(-1)やや薄い/(-2)薄い

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

 シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは**ハード**に、ソフトにしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード / (+1)ミディアムハード / (0)スタンダード / (-1)ミディアムソフト / (-2)ソフト

 ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード / (+1)ミディアムハード / (0)スタンダード / (-1)ミディアムソフト / (-2)ソフト

 シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード / (+1)ミディアムハード / (0)スタンダード / (-1)ミディアムソフト / (-2)ソフト

 ノイズリダクション

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは**強**に、画像の輪郭を残したいときは**弱**に設定します。

設定：(+2)強 / (+1)やや強 / (0)スタンダード / (-1)やや弱 / (-2)弱

 長秒時ノイズ低減

ONにすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます (図 55、57)。

設定：ON/OFF

 カスタム保存

撮影モードの**P**、**S**、**A**、**M**モードの撮影設定を保存します (図 58)。

 タッチパネルモード

液晶画面 (LCD) のタッチ操作で、撮影やフォーカスエリア選択ができるように設定できます (図 30)。

 タッチズーム

タッチ操作でデジタルズーム撮影ができます (図 34)。

LENS マウントアダプター設定

カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます (図 90)。

LENS レンズなしリリース

レンズを未装着でシャッターをきれるかどうかを設定します。

設定：ON/OFF

MF MFアシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します (図 61)。

設定	説明
スタンダード	通常表示です (フォーカスピーキング機能を使用しません)。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。 設定：ホワイト (弱) / ホワイト (強) / レッド (弱) / レッド (強) / ブルー (弱) / ブルー (強)

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ (露出) にならないときに使用します (図 83)。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、**測光**が **スポット**で **オートフォーカス設定の AF モード**がシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定：ON/OFF

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

f フラッシュ設定

フラッシュのモードや発光量を変更できます。

サブメニュー	内容
フラッシュモード	使用するフラッシュのモードを選べます (84)。
フラッシュ調光補正	撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。 設定：+2/+1⅓/+1⅓/+1/+⅓/+⅓/±0/-⅓/-⅓/-1/-1⅓/-1⅓/-2 ◆ 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。
赤目補正	暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。 設定：ON/OFF ◆ 顔が検出できないときは、赤目補正されません。 ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

動画設定

動画撮影に関する設定を行います。

サブメニュー	内容										
動画モード	撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1080/60P</td> <td rowspan="3">フレームレートが 60fps、50fps、24fps のフルハイビジョン動画</td> </tr> <tr> <td> 1080/50P</td> </tr> <tr> <td> 1080/24P</td> </tr> <tr> <td> 720/60P</td> <td rowspan="3">フレームレートが 60fps、50fps、24fps のハイビジョン動画</td> </tr> <tr> <td> 720/50P</td> </tr> <tr> <td> 720/24P</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	1080/60P	フレームレートが 60fps、50fps、24fps のフルハイビジョン動画	1080/50P	1080/24P	720/60P	フレームレートが 60fps、50fps、24fps のハイビジョン動画	720/50P	720/24P
	設定	説明									
	1080/60P	フレームレートが 60fps、50fps、24fps のフルハイビジョン動画									
1080/50P											
1080/24P											
720/60P	フレームレートが 60fps、50fps、24fps のハイビジョン動画										
720/50P											
720/24P											
動画感度	撮影する動画の感度を変更できます。 設定：6400/5000/4000/3200/2500/2000/1600/1250/1000/800/640/500/400/AUTO ◆ 設定した感度は静止画撮影には反映されません。										
マイクレベル設定	マイクレベルを変更できます。 設定：1～4										

📷 ブレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
📷 ₁ 常時 + 動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
📷 ₁ 常時	常に手ブレ軽減を行います。
📷 ₂ 撮影時 + 動き認識	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
📷 ₂ 撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。

- 📷 **ISO** 感度を固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。
- 📷 手ブレ補正対応レンズ装着時のみ有効です。

📷 電子式手ブレ補正

動画撮影時の手ブレ補正を使用するかどうかを設定できます。

設定：ON/OFF

📶 ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます (📄 123)。

- 📷 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
MS メカニカル+ ES 電子	カメラが状況に応じたシャッターで撮影します。

◆ 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- 感度は 6400 ~ 200、シャッタースピードは 1/32000 ~ 1 秒に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- 連写撮影では、ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- フラッシュは発光しません。

① 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。

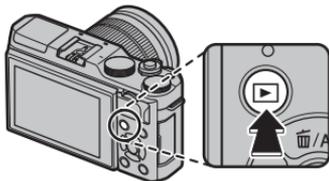
- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
- 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
- シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任でお使いください。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

- 1**  ボタンを押します。
再生モードに切り換わります。



- 2** MENU/OK ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。



- 3** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 4**  で設定の変更に移ります。



- 5** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 6** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 7** DISP/BACK ボタンを押して、再生画面に戻ります。



再生メニュー一覧

📶 ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます (📖 123)。

◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

RAW RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存 (現像) できます (📖 88)。

🗑️ 消去

画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます。また、消去する画像を選択してからまとめて消去できます。

1 再生メニューで 🗑️ 消去を選びます。

2 消去の方法を選びます。

- 1 コマ： ◀ または ▶ で消去する画像を選び、表示した画像を消去します。
 - ◆ 手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて消去する画像を選べます。
- 複数指定： 消去する画像を選択してからまとめて消去します。
 - ◆ MENU/OK ボタンを押すと選択され、もう一度 MENU/OK ボタンを押すと選択が解除されます。
 - ◆ DISP/BACK ボタンを押すと、消去画像の選択を終了します。
 - ◆ 選択された画像は が表示されます。
- 全コマ： すべての画像を消去します。

3 MENU/OK ボタンを押して、消去を実行します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  トリミングを選びます。
- 3 サブコマンドダイヤルで必要な部分を拡大 / 縮小し、▲▼◀▶ で切り抜きたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。

- ◆ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- ◆ トリミングを行ったあとの記録画素数が 640 のときは、実行が黄色で表示されます。
- ◆ トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。

リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズ（**M**、**S**、**640**）を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 4 MENU/OK ボタンを押して、リサイズします。

- ◆ 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

再生の設定を変える — 再生メニュー

Om プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

- 1** 再生メニューで **Om** プロテクトを選びます。
- 2** プロテクトの方法を選びます。
 - ・ **設定 / 解除** : プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。
 - ◆ 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
 - ・ **全コマ設定** : すべての画像がプロテクトされます。
 - ・ **全コマ解除** : すべての画像のプロテクト設定を解除します。
- 3** MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。
- 4** DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。
 - ① メモリーカードをフォーマット (☞ 120) すると、プロテクトした画像も消去されます。

🔄 画像回転

画像を回転できます。

- 1** 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2** 再生メニューで **🔄** 画像回転を選びます。
- 3** ▼ (時計回りに 90° 回転) または ▲ (反時計回りに 90° 回転) で画像を回転します。
- 4** MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
 - ◆ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
 - ◆ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
 - ◆ **☑ 表示設定の縦横自動回転再生を ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します (☞ 115)。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニューで  赤目補正を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- ◆ 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかつたり、補正した結果に差が生じることがあります。
- ◆ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ◆ 赤目補正済みの () が表示されている画像は、それ以上赤目補正できません。
- ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

- MENU/OK ボタン：スライドショーを開始 / 終了します。
- DISP/BACK ボタン：スライドショー終了のガイダンスを表示します。
- ◀ または ▶：コマ送りします。
- ◆ スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます (p.92)。

再生の設定を変える — 再生メニュー

 PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます (124)。

◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

 プリント予約 (DPOF)

プリントする画像を指定します (129)。

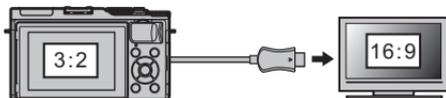
 instax プリンタープリント

別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます (131)。

 表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	3:2
イメージ		

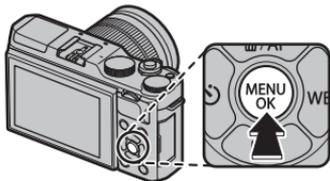
◆ **16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

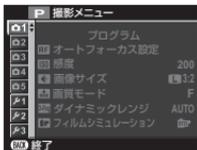
日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

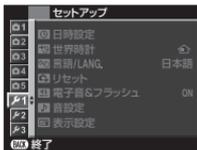
- 1** MENU/OK ボタンを押します。
メニューが表示されます。



- 2** ◀ でタブ選択に移ります。



- 3** ▼ でセットアップタブに移ります。



- 4** ▶ でセットアップ画面を表示します。

- 5** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 6** ▶ で設定の変更に移ります。



- 7** ▲ または ▼ で設定を変更します。

- 8** MENU/OK ボタンを押して、決定します。

- 9** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

セットアップメニュー一覧

🕒 日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください (📖 29)。

🌐 世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	「初期設定を行う」(📖 29) で設定した地域の日時を表示
📍 現地	旅行先の日時を表示

● 現地時間の設定

- 1 📍 現地を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 2 時差を設定します。
 - ・ ◀ または ▶ : + / -、時間、分の選択
 - ・ ▲ または ▼ : 設定の変更
- 3 MENU/OK ボタンを押します。

📍 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に 📍 と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

🗣️ 言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

🔄 リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- 1 リセットするメニュー（撮影メニューリセットまたはセットアップリセット）を選び ▶ を押すと、確認画面が表示されます。
- 2 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。
 - 📷 撮影メニューリセットでは、📷 カスタム保存の内容と 📖 ホワイトバランスの 📷 の内容、📶 ワイヤレス通信の内容以外がリセットされます。
 - 📍 セットアップリセットでは、🕒 日時設定、🌐 世界時計以外がリセットされます。

電子音 & フラッシュ

OFF にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定：ON/OFF

◆ **OFF** に設定すると、画面に  が表示されます。

音設定

音に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
操作音量	ボタンなどを操作するときの音量を設定します。 設定：  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 /  1 / 1 /

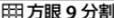
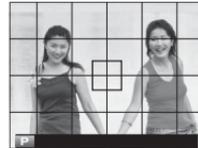
カメラの設定を変える — セットアップメニュー

表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。	
	設定	説明
	連続	シャッターを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。サブコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
	1.5 秒	撮影した画像を一定時間表示。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。
	0.5 秒	
OFF	表示なし	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。 ◆ 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。 ◆ 撮影モードや撮影の設定によっては、撮影後必ず撮影結果が表示されます。 	
マニュアル時モニター露出反映	ON にすると、マニュアル (M) 撮影 (57) で露出を反映した画像が画面に表示されます。 設定：ON/OFF <ul style="list-style-type: none"> ◆ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出反映を OFF にしてください。 	
LCD 明るさ	LCD (液晶モニター) の明るさを調整できます。 設定：-5 ~ +5	
LCD 鮮やかさ	LCD (液晶モニター) の鮮やかさを調整できます。 設定：-5 ~ +5	
モニター撮影効果反映	ON にすると、フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。 OFF にすると、撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ OFF では表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。 	

表示設定 (続き)

サブメニュー	内容			
フレーミングガイド	撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。			
	設定	 方眼 9 分割	 方眼 24 分割	 HD フレーミング
	説明	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
イメージ				
縦横自動回転再生	ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。 設定：ON/OFF			
フォーカスチェック	ON にすると、フォーカスモードが M (マニュアルフォーカス) のときにフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示されます (61)。 設定：ON/OFF			
距離指標の単位	撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます (61)。 設定：メートル / フィート			
画面のカスタマイズ	撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます (32)。			

操作ボタン設定

操作ボタンに関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
ファンクション (Fn) 設定	ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます (45)。
クイックメニュー登録 / 編集	クイックメニューに表示するメニューを変更できます (44)。

フォーカスリング

遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を設定できます。

設定：🕒 時計回り / 🕒 反時計回り

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

タッチパネル設定

液晶画面（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます（[図](#) 30、34、38）。

消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
自動電源 OFF	自動的に電源をオフにできます。	
	設定	説明
	5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
	2分	
	OFF	自動的に電源がオフになりません。
	◆ 設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。	
ハイパフォーマンス	ON にすると、ピント合わせと、カメラの再起動時の立ち上げ速度が速くなります。 設定：ON/OFF	

センサークリーニング

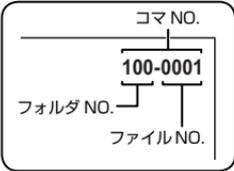
センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

サブメニュー	内容
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します（ 図 4）。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

◆ センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手でセンサーをクリーニングしてください（[図](#) 144）。

保存設定

画像の保存に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容							
コマ NO.	コマ NO. (フォルダ NO.、ファイル NO.) の付け方を設定します。メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連番</td> <td> メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。 </td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td> 新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。 </td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。	新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。	
設定	説明							
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。							
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。							
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります (156)。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。 ◆  リセットを行ってもコマ NO. はリセットされません。 ◆ 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。 							
補正前画像記録	ON にすると、  赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。 設定：ON/OFF							
ファイル名編集	ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。							
	色空間	工場出荷時	変更例					
	sRGB	DSCF****	ABCD****					
	Adobe RGB	_DSF****	_ABC****					

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

保存設定 (続き)

サブメニュー	内容	
日付書き込み	撮影した日付と時刻を、画像に写し込むかどうかを設定します。	
	設定	説明
	☑ + ⊕	撮影した日付と時刻を、画像に写し込みます。
	☑	撮影した日付を、画像に写し込みます。
	OFF	日付や時刻を写し込みません。
<p>① 画像に写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、日付書き込みを OFF に設定してから撮影してください。</p> <p>① 日時設定が行われていない場合は、日時の設定画面が表示されます。日時の設定を行ってください (☞ 29、112)。</p> <p>① 日付書き込みを行った場合は、プリント予約 (DPOF) の設定を日付なし設定にすることをおすすめします (☞ 129)。</p> <p>① 動画と RAW 画像に日時と時刻を写し込むことはできません。</p>		

色空間

カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	商用印刷用途などに適しています。

カスタムリセット

カスタム保存 (☞ 58) で保存された **C** (カスタム) モードの設定をリセットします。

接続設定

スマートフォンやパソコン、FUJIFILM instax SHARE プリンターなどの無線 LAN 接続に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
ワイヤレス設定	無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。	
	サブメニュー	内容
	共通設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名前: 無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 ・ 設定初期化: 無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。
	スマートフォン送信時 ON 圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ON: 画像サイズを ON に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。 ・ OFF: 元画像のサイズのままで送信します。 ◆ スマートフォン送信時 ON 圧縮 を ON して画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。
PC 保存設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存先削除: 設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 ・ 前回接続情報: 直近に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。 	
PC 保存先設定	PC 保存の保存先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単設定: 無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。 ・ 手動設定: 無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。 	
位置情報設定	スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。	
	サブメニュー	内容
	位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。 設定: ON/OFF
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。 設定: ON/OFF	
instax プリンター接続設定	別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定します (131)。	

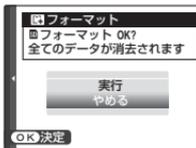
- ◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

[F] フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

- 1 セットアップメニューで [F] フォーマットを選びます。
- 2 MENU/OK ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



- 3 ▲ で実行を選び、MENU/OK ボタンを押します。
フォーマットが実行されます。

◆ 確認画面でやめるを選んだ状態で MENU/OK ボタンを押したり、DISP/BACK ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- ① プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- ① フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

工場出荷時の設定値

撮影メニューとセットアップメニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

◆ セットアップメニューの  リセットを実行すると (P.112)、工場出荷時の設定に戻せます。

■ 撮影メニュー

メニュー	工場出荷時
 シーン選択	 人物
 Adv. モード	 アドバンストフィルター
AF オートフォーカス設定	
AF モード リリース優先 / フォーカス優先	 ゾーン AF-S モード時の優先：リリース AF-C モード時の優先：リリース
AF + MF 顔検出 / 瞳 AF 設定	OFF 顔検出 OFF / 瞳 AF OFF
プリ AF	OFF
AF 補助光	ON
 ISO 感度	200
 画像サイズ	 3:2
 画質モード	FINE
 ダイナミックレンジ	 100%
 フィルムシミュレーション	 PROVIA / スタンダード
 フィルムシミュレーション BKT	
フィルム 1	 PROVIA / スタンダード
フィルム 2	 Velvia / ビビッド
フィルム 3	 ASTIA / ソフト
 セルフタイマー	OFF
 ホワイトバランス	AUTO
 カラー	(0) 標準
 シャープネス	(0) スタンダード
 ハイライトトーン	(0) スタンダード

メニュー	工場出荷時
 シャドウトーン	(0) スタンダード
 ノイズリダクション	(0) スタンダード
 長秒時ノイズ低減	ON
 タッチパネルモード	タッチショット
 タッチズーム	OFF
 マウントアダプター設定	レンズ 5 (50mm)
 レンズなしリリース	OFF
 MF アシスト	スタンダード
 測光	 マルチ
 測光 & フォーカスエリア連動	ON
フラッシュ設定	
フラッシュモード	オート
フラッシュ調光補正	± 0
赤目補正	OFF
動画設定	
動画モード	 1080/60P
動画感度	AUTO
マイクレベル設定	3
 ブレ防止モード	 常時 + 動き認識
 電子式手ブレ補正	ON
 シャッター方式	MS メカニカルシャッター

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

■ セットアップメニュー

メニュー	工場出荷時
電子音 & フラッシュ	ON
音設定	
操作音量	
シャッター音量	
シャッター音	♪1サウンド1
再生音量	7
表示設定	
撮影画像表示	OFF
マニュアル時モニター露出反映	ON
LCD 明るさ	0
LCD 鮮やかさ	0
モニター撮影効果反映	ON
フレーミングガイド	方眼 9 分割
縦横自動回転再生	ON
フォーカスチェック	OFF
距離指標の単位	メートル
画面のカスタマイズ	フレーミングガイド： <input type="checkbox"/> AF 時の距離指標： <input type="checkbox"/> ヒストグラム： <input type="checkbox"/> その他すべて： <input checked="" type="checkbox"/>
操作ボタン設定	
ファンクション (Fn) 設定	感度
クイックメニュー登録 / 編集	43 参照

メニュー	工場出荷時
フォーカスリング	時計回り
タッチパネル設定	ON
消費電力設定	
自動電源 OFF	2分
ハイパフォーマンス	OFF
センサークリーニング	
電源 ON 時に実行	OFF
電源 OFF 時に実行	ON
保存設定	
コマ NO.	連番
補正前画像記録	OFF
日付書き込み	OFF
色空間	sRGB
接続設定	
ワイヤレス設定	スマートフォン送信時
位置情報設定	圧縮：ON 位置情報記録：ON 位置情報表示：ON

無線 LAN 機能を使用する (FUJIFILM Camera Remote/FUJIFILM PC AutoSave)

無線 LAN を使って、カメラとスマートフォンやパソコンと通信が出来ます。無線 LAN 機能の使用方法和アプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。



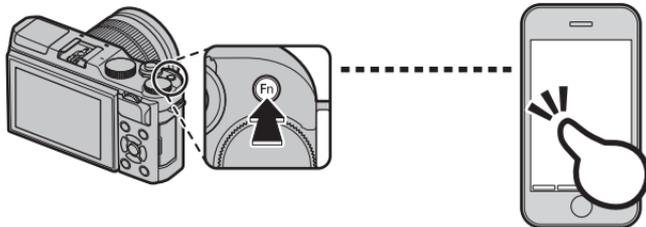
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



スマートフォンと通信

再生モードでカメラのファンクション (Fn) ボタンを押すと、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

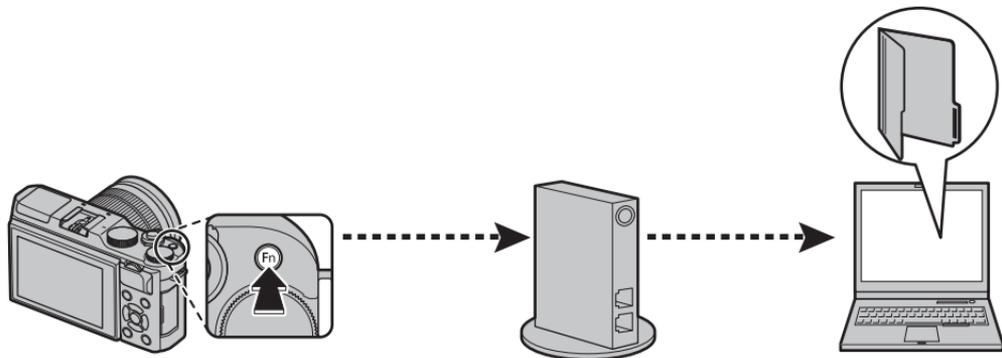
これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション **FUJIFILM Camera Remote** をインストールしておく必要があります。

◆ 撮影 / 再生メニューの  **ワイヤレス通信** から通信できます。

無線 LAN 機能を使用する

パソコンに画像を保存

再生モードでカメラのファンクション (Fn) ボタンを長押しすると、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション **FUJIFILM PC AutoSave** をインストールして保存先を設定しておく必要があります。

◆ 再生メニューの  **PC 保存** から通信できます。

カメラをパソコンに接続して画像を転送する (MyFinePix Studio/RAW FILE CONVERTER)

Windows をお使いの方

Windows をお使いの方は **MyFinePix Studio** を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。 **MyFinePix Studio** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

富士フィルム マイファインピックススタジオ 

ダウンロードしたファイル「**MFPS_Setup.EXE**」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

Mac (Macintosh) をお使いの方

Mac (Macintosh) をお使いの方は、Mac OS 標準アプリケーションの**イメージキャプチャ**などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

● RAW 画像をパソコン上で現像するには

RAW FILE CONVERTER を使うと、RAW 画像をパソコン上で現像できます。 **RAW FILE CONVERTER** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

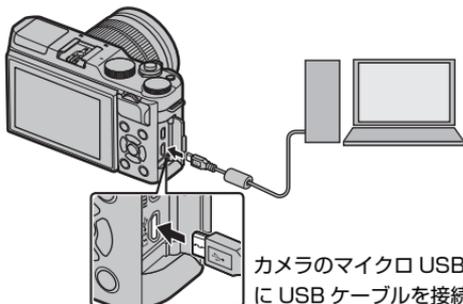
富士フィルム RAW ファイルコンバーター 

カメラをパソコンに接続して画像を転送する

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

- 1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



カメラのマイクロ USB 端子（マイクロ B）に USB ケーブルを接続します。

- ① USB ケーブルは、付属のものをご使用ください。
- ① カメラ側の端子は USB 2.0 マイクロ B です。
- ① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

- 4 カメラの電源をオンにします。
- 5 MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
- 6 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

- ① 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- ① メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ① カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- ① カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
 - カメラの電源をオフにする
 - USB ケーブルを抜く
- ① メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ① ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ① パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ① インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約 (DPOF)** であらかじめDPOF指定 (P.129) した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF指定でプリント」とお伝えただけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ



メモリーカード



フジカラーデジカメプリントサービス店



事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します (**プリント予約 (DPOF)** : P.129)。

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。詳細は、<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html> をご覧ください。

● デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめDPOF指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、125ページを参照してください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください (P.29)。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください (「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。 <http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

プリントする画像を指定する (プリント予約 (DPOF))

再生メニューの  **プリント予約 (DPOF)** であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラー デジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするとき ( 128) に、指定した内容で簡単にプリントできます。

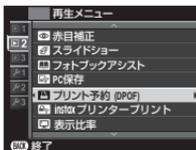
DPOF 指定

DPOF (ディーポフ) とは、Digital Print Order Format (デジタルプリントオーダーフォーマット) のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。



■ 日付あり設定 / 日付なし設定

- 1** 再生メニューで  **プリント予約 (DPOF)** を選びます ( 110)。



- 2** 日付あり設定  または日付なし設定を選びます。



日付あり設定  : 撮影日を印字します。

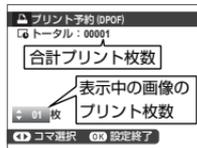
日付なし設定 : 撮影日を印字しません。

- 3** MENU/OK ボタンを押します。

- 4** DPOF 指定する画像を選びます。

- 5** プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

- ・DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。



- 6** プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。

設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

プリントする画像を指定する ( プリント予約 (DPOF))

7 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。

- ◆ 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- ◆ 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。
- ◆ 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。



■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。



instax SHARE プリンターでカメラの画像をプリントする

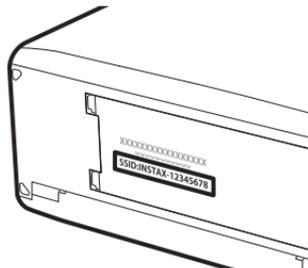
別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

 接続設定の **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

■ プリンター名 (SSID) とパスワード

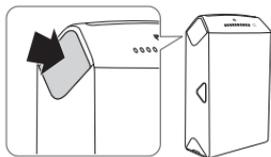
instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。既にスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



instax SHARE プリンターでカメラの画像をプリントする

画像をプリントする

- 1** プリンターの電源を入れます。



- 2** 再生メニューから  **instax プリンタープリント** を選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- ◆ 連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

- 3** プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- ◆ 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- ◆ プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

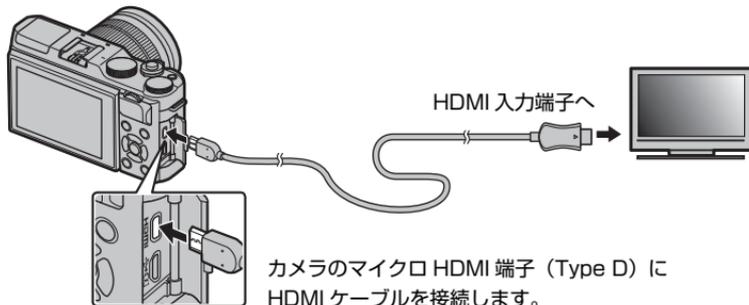
- 4** 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。



テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショー（ 109）を大勢で楽しむことができます。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- ① HDMI ケーブルを使用の際は、以下のことにご注意ください。
 - カメラ側の端子は Type D（HDMI マイクロ）です。
 - 長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
 - 向きに気をつけて接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ① USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- ① HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ① テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

テレビに接続する

- 3** テレビの入力を HDMI 入力に切り換えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
 - 4** カメラの電源をオンにし、▶ (再生) ボタンを押します。
カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。
- ◆ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。



カメラで使えるアクセサリ

別売アクセサリ

このカメラでは、次の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。

充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。



バッテリーチャージャー BC-W126：充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S を充電します。充電時間は約 150 分 (+20°C において) です (AC100V ~ 240V、50/60Hz 対応)。



AC パワーアダプター AC-9V：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V ~ 240V、50/60Hz 対応)。ご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-W126 と併用してお使いください。

DC カプラー CP-W126：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-9V と併用してお使いください。

リモートリリース RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。



XF シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。



XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。



クリップオンフラッシュ EF-X500：ガイドナンバー最大 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、マニュアル発光機能、24 ~ 105 mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、下 10°、左 135°、右 180° です。単三電池 4 本を使用し、別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。



クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能を搭載。バウンス角度は上 90° です。単三電池 2 本を使用します。



別売アクセサリ

クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ~ 105mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。

単三電池 4 本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。



グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

プロテクトフィルター PRF-39/PRF-43/PRF-52/PRF-58/PRF-62/PRF-67/PRF-72/PRF-77：交換レンズ用のプロテクトフィルターです。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

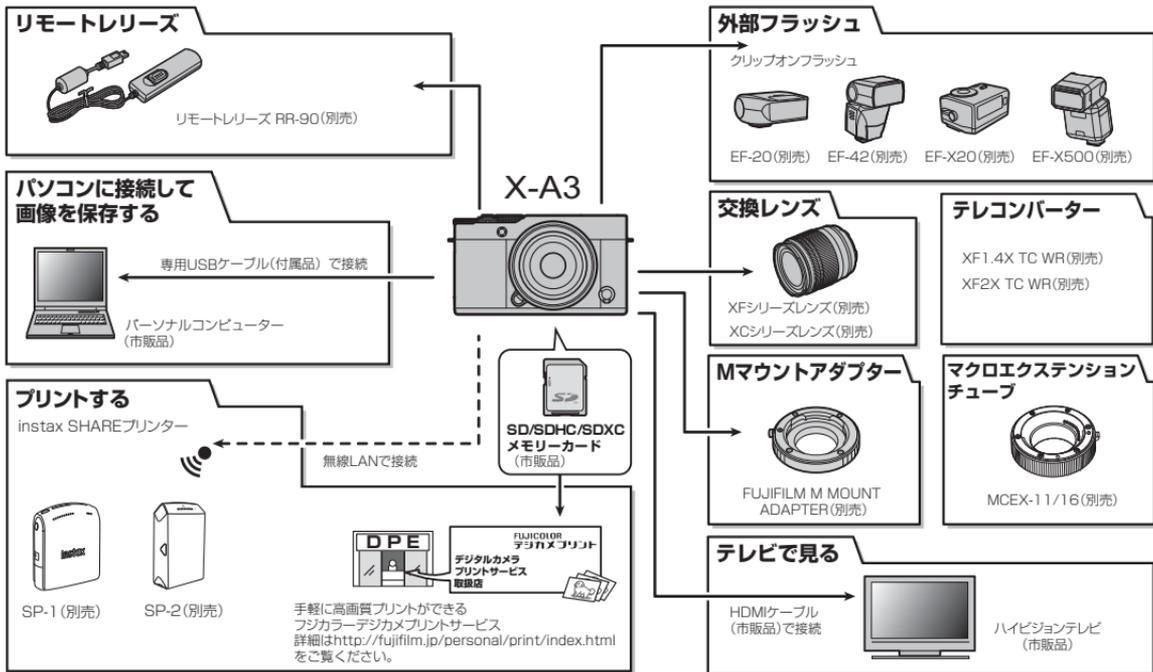
instax SHARE プリンター SP-1/SP-2：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

※最新情報については、富士フィルムホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

システム構成図

このカメラは、さまざまな富士フィルムおよび他社製品に対応しています。



カメラで使えるアクセサリー

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます (パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

* 本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。

* HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
ます。

- ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

警告
この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意
この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

!
このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

!
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。

内部にやや異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。



水ぬれ禁止



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部だけがする原因になります。
・感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
電池は極性(⊕⊖)表示どおりに入れてください。



電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の電池・バッテリーやACパワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。



カメラの温度が高い部分に長時間触れない。
低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

- ・気温の高い環境でご使用になる場合
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などが使用になる場合



電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

- ・長時間ご使用になる場合
- ・気温の高い環境でご使用になる場合
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱、発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
- 充電は周囲の温度が0℃～40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

⚠ バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。

⚠ 可燃性/爆発性ガス/粉塵のある場所で使用しない。

⚠ 電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合にも、端子部にゼロハンプなどの絶縁テープをはる。

⚠ 他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

⚠ メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

⚠ メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かない。

⚠ 誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。

⚠ 飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

⚠ 本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

⚠ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

⚠ 火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 異常な高温になる場所に置かない。

⚠ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

⚠ 火災の原因になることがあります。

⚠ 本製品の上に重いものを置かない。

⚠ バランスがくずれ倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

⚠ AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

⚠ 電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

⚠ 熱がこもるケースが変形し、火災の原因になることがあります。

⚠ 電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

⚠ 火災・感電の原因になることがあります。

⚠ お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

⚠ 火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 充電終了後は充電器をコンセントから抜く。コンセントにつけたままにしておくとう火災の原因になることがあります。

⚠ メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

⚠ 飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

⚠ 定期的な内部点検・清掃を依頼する。

⚠ 本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

⚠ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。



お取り扱いにご注意ください

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- ・充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- ・涼しいところで保存してください。
- 周囲の温度が +15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- ・水にぬらさないようご注意ください。
- ・端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBR」のホームページをご参照ください。 <http://www.jbr.com/>

■AC パワーアダプター使用機種

- 必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- ・室内専用です。
- ・DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ・AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- ・使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿の場所では使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発振音が発生することがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りをお願いします

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りを行い、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

- 液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりませんが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- xD、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windowsロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup®はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SDHCロゴ、SDXCロゴはSD-3C.LLCの商標です。
- HDMIロゴは商標です。
- その他他社の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

- 次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
 - 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
 - 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
 - 極端に寒いところ
 - 振動の激しいところ
 - 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーザー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り出して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになりません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- スポンジのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになつたあと、取り出したメモリーカードが温かくなつてい場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらしないでください。メモリーカードの出入りの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

お取り扱いにご注意ください

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。
• ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
• お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**
火災・感電の原因になります。

風呂、シャワー
室での使用禁止

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**
火災・感電の原因になります。
また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

分解禁止

 **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**
感電したり、破損部でケガをする原因になります。
• 感電やけがに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接触禁止

 **不安定な場所に置かない。**
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽をみない。**
失明や視力障害になる恐れがあります。

注意

 **油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**
火災・感電の原因になることがあります。

 **異常な高温になる場所に置かない。**
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

 **小さいお子様の手の届くところに置かない。**
けがの原因になることがあります。

 **濡れた手で触らない。**
感電の原因になることがあります。

 **逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。**
太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災やけがの原因になることがあります。

 **使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。**
太陽光が内部で焦点を結び、火災やけがの原因になることがあります。

 **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。**
転倒したり、ぶつかりたりしてケガの原因になることがあります。

重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

① 本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お買い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ (画像) の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局 (免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が約 40 m であることを意味しています。

センサーをクリーニングする

① クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

1 センサーの表面に付着したほこりをブローアー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



① ブローアーはブラシの付いていないものを使用してください。ブローアーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。

2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

◆ 取り除けていない場合は、再度ブローアーでクリーニングしてください。

3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。



困ったときは

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

	症状	ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	ON/OFF（電源）レバーをONに合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	25, 28
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	22
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	23
	ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。	—
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	139
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		AF オートフォーカス設定のプリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	97
		撮影モードが  に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	46
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	25, 28

症状		ここをチェック！	処置	
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	22、 25
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
バッテリーの寿命または故障の可能性があります。		新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	22、 25、 170	

■ メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	
メニューが日本語以外で表示されています。	セットアップメニューの  言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	111、 112

■ 撮影時

症状		ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	22, 39
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	120
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	22
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	25, 28
	電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	28	
	シャッターボタンを半押しすると、LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んでいませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているため、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	66, 67
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	50

症状		ここをチェック！	処置	📖
顔検出について	顔検出が設定できません。	顔検出が設定できない撮影モードになっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	158
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	97
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	—
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—		
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずに AF/AE ロック撮影してください。	66	

症状	ここをチェック！	処置	📖	
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	158
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	25、28
		連写設定がブラケット撮影または連写になっていませんか？	連写設定を 1コマ撮影 に設定してください。	71、72、73
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	113
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	フラッシュが閉じていませんか？	フラッシュをポップアップしてください。	84
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	113
		フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。
フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。		33	
高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが $\frac{1}{100}$ 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを $\frac{1}{100}$ 秒以下に設定してください。		85、55、57	
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	4
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	—
	画像に点状のノイズがあります。	撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていなかったか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	34
		気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
		画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？ 温度警告が表示されていなかったか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。

■ 再生時

症状		ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量的設定が小さくなっていますか？	再生音量を調節してください。	113
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないようにください。	10、41
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないようにください。	10、42
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	113
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	108
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	22、28

■ 接続時

症状		ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	133
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	126
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	MyFinePix Studio (Windows) を使って、画像を取り込んでください。	125

■ 無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。

<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

症状	ここをチェック！	処置	
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	119、 123
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありますか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画は送信できません。	
	 接続設定のワイヤレス設定 > スマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	

■ その他

症状		ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	22, 23
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	25, 28
	無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—	
	カメラが正常に作動しなくなっていました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	22, 23, 170
音について	音ができません。	電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	113
日付と時刻について	☑️保存設定の日付書き込みで写し込んだ日時が正しくない。	日時設定は正しく設定されていますか？	日時設定をやり直してください。	29, 112
	撮影画像に日付や時刻が入っている。	☑️保存設定の日付書き込みが設定されていませんか？	写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、日付書き込みを OFF に設定してから撮影してください。	118

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点減)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (P.66)。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとした。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.120)。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.120)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (P.120)。それでも警告表示が消えない場合は、メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.120)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (P.120)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください (P.24)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.120)。
空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直しか電源の ON/OFF を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.120)。

警告表示

警告表示	警告内容	処置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの  保存設定の コマ NO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（  120）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとしてしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（  108）。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません  設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません  回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。
 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしてしました。	—
 実行できません	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。



SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	8 GB		16 GB	
			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	3:2		800	1270	1650	2630
	RAW		150		320	
動画*1	1080/60P*2		26 分		54 分	
	1080/50P*2					
	1080/24P*2					
	720/60P*3		51 分		105 分	
	720/50P*3					
720/24P*3						

*1 HD 動画を撮影するときは、CLASS10 以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 連続して記録する場合、約 14 分で自動的に撮影を停止します。

*3 連続して記録する場合、約 27 分で自動的に撮影を停止します。

	S+ ⁺	Adv. ⁺	Adv.											SP											6
			P	S	A	M	(●)	▲	△	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	
フィルム シミュレーション		✓	✓ ³	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ³	✓	✓													
				✓	✓	✓	✓	✓	✓															✓	✓
				✓	✓	✓	✓	✓	✓															✓	✓
		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓															✓	✓
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	2秒/10秒	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	スマイル	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	カップル	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
グループ	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ホワイトバランス			✓	✓	✓	✓	✓	✓																✓	
カラー				✓	✓	✓	✓	✓																	✓
シャープネス				✓	✓	✓	✓	✓																	✓
ハイライトトーン				✓	✓	✓	✓	✓																	✓
シャドウトーン				✓	✓	✓	✓	✓																	✓
ノイズリダクション				✓	✓	✓	✓	✓																	✓
カスタム保存					✓	✓	✓	✓																	✓
MF アシスト	スタンダード			✓	✓ ³	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	フォーカス ピーキング					✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
						✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
測光		✓ ³	✓ ³	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ³	✓	✓													
					✓	✓	✓	✓	✓																✓
					✓	✓	✓	✓	✓																✓

リンク集

富士フィルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

FUJIFILM X-A3 製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリなどがご覧になれます。

富士フィルム X-A3



撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

富士フィルム 撮影の基礎知識



デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

富士フィルム 撮影ガイド



ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種のファームウェア更新情報をご覧ください。

http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/fw_table.html

富士フィルム ファームウェア



● ファームウェアバージョンの確認方法

① バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

1 カメラの電源をオフにします。
メモリーカードが入っていることを確認します。

2 DISP/BACK ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。

DISP
BACK



3 バージョンの確認ができれば、電源をオフにしてください。

◆ 交換レンズのファームウェアバージョンを確認する場合は、カメラボディにレンズを装着して確認します。

主な仕様

システム

型番	FUJIFILM X-A3
有効画素数	2420 万画素
撮像素子	23.5mm × 15.7mm (APS-C サイズ)、正画素 CMOS 原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)
記録方式	<ul style="list-style-type: none">・ 静止画：DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 /DPOF 対応 非圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPG 記録あり・ 動画：H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き
記録画素数	<ul style="list-style-type: none">・ L 3:2 (6000×4000)・ M 3:2 (4240×2832)・ S 3:2 (3008×2000)・ パノラマ L (2160×9600；縦)、(9600×1440；横)・ パノラマ M (2160×6400；縦)、(6400×1440；横)・ L 16:9 (6000×3376)・ M 16:9 (4240×2384)・ S 16:9 (3008×1688)・ L 1:1 (4000×4000)・ M 1:1 (2832×2832)・ S 1:1 (2000×2000)
レンズマウント	FUJIFILM X マウント
撮影感度	ISO 200～6400 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100/12800/25600 は拡張モード
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル
露出補正	- 3EV～+3EV (1/3EV ステップ)
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none">・ メカニカルシャッター<ul style="list-style-type: none">- P モード時：4 秒～1/4000 秒- タイム：30 秒～1/4000 秒・ 電子シャッター<ul style="list-style-type: none">- P、S、A、M：1 秒～1/32000 秒- タイム：1 秒～1/32000 秒・ メカニカル+電子<ul style="list-style-type: none">- P モード時：4 秒～1/32000 秒- タイム：30 秒～1/32000 秒 <p>- 全モード合わせて：30 秒～1/4000 秒 - バルブ：最長 60 分 - バルブ：1 秒固定 - 全モード合わせて：30 秒～1/32000 秒 - バルブ：最長 60 分</p>

システム

連写		選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps])	連続記録枚数
		JPEG	
		6.0	約 10 コマ (CLASS [®] 以上のメモリーカード使用時)
		3.0	約 50 コマ (CLASS [®] 以上のメモリーカード使用時)
◆ 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。			
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> • モード：シングル AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス (リング回転式) / AF+MF • AF 方式：TTL コントラスト AF、AF 補助光付き • AF フレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド/トラッキング 		
ホワイトバランス	AUTO/ カスタム / 色温度 (ケルビン値) 設定 / 晴れ / 日陰 / 蛍光灯 1/ 蛍光灯 2/ 蛍光灯 3/ 電球 / 水中		
セルフタイマー	OFF、2秒、10秒、スマイル、カップルタイマー、グループタイマー		
フラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> • 方式：手動ポップアップ方式 • ガイドナンバー：約 7 (ISO200・m) 		
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> • 赤目補正 OFF 時：AUTO/ 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ / 後幕シンクロ / コマンダー • 赤目補正 ON 時：赤目軽減 AUTO/ 赤目軽減+強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減+スローシンクロ / 赤目軽減+後幕シンクロ / コマンダー 		
アクセサリシュー	あり (TTL フラッシュ対応)		
液晶モニター (LCD)	3.0 型カラー液晶モニター、約 104 万ドット (視野率 約 100%)		
動画	<ul style="list-style-type: none"> • 1080/60P：60 フレーム / 秒 • 1080/50P：50 フレーム / 秒 • 1080/24P：24 フレーム / 秒 • HD 720/60P：60 フレーム / 秒 • HD 720/50P：50 フレーム / 秒 • HD 720/24P：24 フレーム / 秒 		

主な仕様

入出力端子	
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (Micro-B) (USB2.0 High-Speed)
電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-W126S (付属)
バッテリー作動可能枚数の目安	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーの種類：NP-W126S・ 撮影枚数：約 410 枚 (XF35mmF1.4 R 使用時) <p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。</p>
充電時間	約 210 分 (+20℃において)
本体外形寸法	116.9mm × 66.9mm × 40.4 (31.6*) mm (幅 × 高さ × 奥行き) * 突起部含まず、奥行は最薄部表記
撮影時質量	約 339g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
本体質量	約 290g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
動作環境	温度：0℃～+ 40℃ 湿度：10～80% (結露しないこと)
ワイヤレス転送部	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	アメリカ・カナダ・台湾：2412MHz～2462MHz (11ch) アメリカ・カナダ・台湾以外：2412MHz～2472MHz (13ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

バッテリー NP-W126S

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×厚み)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

AC パワーアダプター AC-5VF

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	11.6 VA (100 V) 15.5 VA (240 V)
定格出力	DC5.0 V 1000 mA
使用温度	0℃～+40℃
質量	約 32g (本体のみ)

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

- ①仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【アイコン】

🔄 (再生) ボタン、35, 105

🗑️ (消去) ボタン、39

📷 (動画撮影) ボタン、41

👉 (フラッシュポップアップ) スイッチ、84

🔗 (連写) ボタン、71, 72, 73

📷 (PROVIA/スタンダード)、86

📷 (Velvia/ビビッド)、86

📷 (ASTIA/ソフト)、86

📷 (クラシッククローム)、86

📷 (PRO Neg. Hi)、86

📷 (PRO Neg. Std)、86

📷 (モノクロ)、86

📷 (セピア)、86

P (プログラム)、46, 54

S (シャッタースピード優先)、46, 55

A (絞り優先)、46, 56

M (マニュアル)、46, 57

C (カスタム)、46, 58

📷+ (アドバンストSRオート)、33, 46, 47

Adv. (アドバンストモード)、46, 48

📷 (アドバンストフィルター)、48, 49

📷 (パノラマ)、48, 50

📷 (多重露出)、48, 52

SP (シーンポジション)、46, 53

🏃 (スポーツ)、46, 53

🏞️ (風景)、46, 53

👤 (人物)、46, 53

👩 (美肌)、53

🌃 (夜景)、46, 53

👣 (夜景 (三脚))、53

🎆 (花火)、53

🔥 (夕焼け)、53

❄️ (スノー)、53

🏖️ (ビーチ)、53

🎉 (パーティー)、53

🌸 (花)、53

📷 (文字の撮影)、53

📷 (赤目軽減オートフラッシュ)、85

📷 (赤目軽減+強制発光フラッシュ)、85

📷 (赤目軽減+スローシンクロ)、85

📷 (赤目軽減+後幕シンクロ)、85

📷 (強制発光)、84

📷 (スローシンクロ)、84

📷 (後幕シンクロ)、84

📷 (コマンダー)、84

!AF (AF 警告)、34, 154

📷 (撮影時のボタンロック)、11, 15

📷 (フラッシュ発光警告)、85

📷 (プレゼント)、35

📷 (シングルポイント)、62

📷 (ゾーン)、62

📷 (ワイド/トラッキング)、62

【A ~ Z】

Adv. モード、95

AE/AF ロック、66

AE ブラケティング、71, 73

AE ロック、66

AF (オートフォーカス)、34, 66, 67

AF 警告、34, 154

AF 補助光、33, 34, 97

AF ボタン、63, 64, 65

AF ロック、66

DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、31

DPOF 指定、129

Fn (ファンクション) ボタン、45

FUJIFILM Camera Remote、123

FUJIFILM PC AutoSave、123

HDMI、133, 137

HDMI ケーブル、133, 137

instax SHARE、110, 119, 131, 136

instax プリンタープリント、110

ISO 感度、80, 98

ISO ブラケティング、71, 73, 74

LCD 明るさ、114

LCD 鮮やかさ、114

LCD (液晶モニター)、13, 14

MENU/OK ボタン、11, 94, 105, 111

MF アシスト、61, 101

MyFinePix Studio、92, 125

M マウントレンズ、90

PC 保存、110, 124

PC 保存先設定、119

Q (クイックメニュー) ボタン、43

RAW FILE CONVERTER、87, 125

RAW 画像、87, 88, 98

RAW 現像、87, 88, 106

SD/SDHC/SDXC メモリーカード、3, 22,

24, 162

USB 接続、27, 126, 137

WB シフト、68

WB ボタン、68

【あ】

赤目補正、85, 102, 109

明るさ (画面)、114

明るさ (露出補正)、82

アドバンストSR オート、33, 46, 47

アドバンストフィルター、48, 49

アドバンストモード (Adv.)、46, 48

- 後幕シンクロ、84
アフターサービス (修理)、170
アベレージ (測光)、83
位置情報記録、119
位置情報設定、119
位置情報表示、119
色空間、118
インジケータランプ、13
インストール (ソフトウェア)、87, 123, 124, 125, 169
インターバルタイマー撮影、99
液晶モニター (LCD)、13, 14
エリア選択 (タッチ操作)、30
エリア選択 (フォーカスモード)、63, 96
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、28, 116
オートフォーカス (AF)、34, 66, 67
オートフォーカス設定、96
オートフラッシュ、84
音設定、113
お店プリント、128
音量、113
- 【か】**
海外で使うとき、26, 141
顔キレいなび、85, 97
顔検出 / 瞳 AF 設定、97
画質モード、98
カスタム (C)、46, 58
カスタム保存、58, 100
カスタムホワイトバランス、68, 69
カスタムリセット、118
画像回転、108
画像サイズ、98
画面 (明るさ)、114
画面のカスタマイズ、32, 115
- 画面 (表示の切り換え)、31, 37
カラー、99
感度、80, 98
強制発光、84
距離指標、19, 61
距離指標の単位、61, 115
切り抜き (トリミング)、107
記録画素数、162
クイック起動、28, 116
言語設定、29, 112
交換レンズ、17, 21, 135
工場出荷設定、121
コマ NO. (コマナンバー)、117
コマダー、84
コンティニューアス (フォーカスモード)、59
- 【さ】**
再生音量、113
再生ズーム、36
再生メニュー、105
再生モード、16, 35, 105
撮影画像表示、114
撮影可能枚数、157
撮影メニュー、94
撮影モード、46
サブコマンドダイヤル、12
シーン選択、53, 95
シーンポジション (SP)、46, 53
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、28, 116
自分撮り (セルフイー)、13, 79
絞り優先 (A)、46, 56
絞りリング、18
シャープネス、100
シャッター音、113
シャッター音量、113
- シャッタースピード、54, 55, 57
シャッタースピード優先 (S)、46, 55
シャッター方式、104
シャッターボタン、34
シャドウトーン、100
修理、170
消去、39, 106
消費電力設定、116
初期化 (フォーマット)、120
ストラップ、20
スポット (測光)、83
スマートフォン、119, 123
スライドショー、109
スローシンクロ、84
静止画撮影、33, 46
世界時計、112
接続設定、119
セットアップメニュー、111
セルフイー (自分撮り)、13, 79
セルフタイマー、75, 99
セレクトボタン、11
全押し、34
センサークリーニング、4, 116
操作音量、113
操作ボタン設定、115
測光、83, 101
測光 & フォーカスエリア連動、101
- 【た】**
ダイナミックレンジ、99
ダイナミックレンジブラケティング、71, 73, 74
タイム撮影、55
多重露出撮影、48, 52
タッチズーム、100

タッチパネル設定、116
タッチパネルモード、100
縦横自動回転再生、115
長秒時ノイズ低減、55, 57, 100
チルト、13, 79
デジカメプリント、128, 129
手ブレ補正、18, 103
テレビ接続、133
電源、28
電源レバー、28
電子音 & フラッシュ、113
電子式手ブレ補正、103
動画再生、42
動画撮影、41
動画設定、41, 102
動画モード、102
トリミング、107
【な】
日時設定、29, 112
ノイズリダクション、100
【は】
ハイビジョン動画、102
ハイライトトーン、100
パソコン接続、27, 126, 137
発光禁止、84
バッテリー、2, 22, 23, 25, 135
バッテリー残量表示、26, 28
バルブ撮影、57
半押し、34
被写界深度、56, 61
被写界深度目盛、19
ヒストグラム表示、32
日付あり設定（プリント予約）、129
日付書き込み、118

瞳 AF、97
表示設定、114
表示比率（HDMI）、110
標準撮影枚数 / 記録時間、157
ファンクション（Fn）設定、45, 115
ファンクション（Fn）ボタン、45
フィルムシミュレーション、86, 99
フィルムシミュレーションブラケティング、71, 73, 74, 99
フォーカスエリア、63
フォーカスエリアポイント、63
フォーカスチェック、61, 115
フォーカスピーキング、61, 101
フォーカスモード、41, 59
フォーカスリング、19, 60, 115
フォーマット（初期化）、120
フォトブック、92
フォトブックアシスト、92, 109
付属品、2
ブラケティング撮影、71, 73
フラッシュ、84, 102
フラッシュ調光補正、102
フラッシュポップアップスイッチ、84
フラッシュモード、84, 102
プリント予約（DPOF）、110, 128, 129
フレーミングガイド、115
プレゼント、35
ブレ防止モード、103
プログラム（P）、46, 54
プログラムシフト、54
プロテクト、108
別売アクセサリ、135
ヘルプ（ソフトウェア）、127
補正前画像記録、117

保存設定、117
ホワイトバランス、68, 99

【ま～や】

マイクロサムネイル、37
マウントアダプター設定、90, 101
マニュアル（M）、46, 57
マニュアル時モニター露出反映、114
マニュアルフォーカス（フォーカスモード）、59, 60
マルチ再生、37
マルチ（測光）、83
メインコマンドダイヤル、12
メモリーカード、3, 22, 23, 24, 157
モニター撮影効果反映、114

【ら～わ】

リサイズ、107
リセット、112, 121
リモートリリース、55, 57, 135
レンズ着脱ボタン、21
レンズなしリリース、101
連続撮影（連写）、71, 72
露出インジケーター、57
露出補正、82
露出補正バー、82
ワイヤレス設定、119
ワイヤレス通信、103, 106
ワンタッチ AF、60

ソフトウェアのお問い合わせについて

- 1 お問い合わせの前にお確かめください。**
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。
- 2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせ**
<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。
- 3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
 - ・カメラの機種名
 - ・ソフトウェアのバージョン
 - ・エラーメッセージ
 - ・どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
 - ・ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

- お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日 9:30～17:30/

土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (日曜日、祝日、
土曜日 10:00～17:00 年末年始を除く)

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePixクイックリペアサービス】お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション

【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711 (月曜日～金曜日 9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00 ※日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。